

土木学会 年表

本年表は、前回の60年略史に掲載されている年表形式にとらわれず、学会創立時の1914（大正3）年から1983（昭和58）年末までの70年間における土木学会活動のみを「会長・副会長・会員数」、「組織・運営」、「行事・集會」、「調査・研究」、「出版」、「表彰・海外交流・その他」の6項目に分類整理し、作成した。

この70年間における他学協会、あるいは主要な土木界のできごと、更に一般事項との関連についてはスペースの関係で削除せざるを得なかった。もちろん学会の主要な活動を土木界あるいは社会との関連でとらえることは重要であり、また興味あることであるが、それはまた別の機会、土木学会正史編さんの折にでも作成したい。

本年表作成にあたっては、『土木学会誌』の会告欄と前回までの略史のみを基本資料とした。よってこれらに掲載されていない事項については本年表中に記載しておらず、主要なできごととだけがあるものと思われる。

しかし何分にも全体の工程の関係から年表作成期間が2か月余という、この種の作業にあってはまことに短時間内の作成を余儀なくされたため、その他の資料等による充的な調査、検証が困難となった。更に、各支部の活動についても今回は調査が及ばなかった。この意味からは不完全なもの、とのせしりを避けられぬが、70年に及ぶ土木学会本部活動の全容を把握していただく材料とお考えいただければ幸いである。

次に本年表利用にあたっては次の点をご留意いただきたい。

- ① 会員数については原則として12月末の実数を示したが、一部に12月未会員数不明な年があった。これらの年については12月末にこだわらず、判明した月の会員数を記載した。
- ② 「組織・運営」は、役員会、理事会あるいは総会等の会務運営に伴う決議事項を中心に記載した。
- ③ 「行事・集會」は、総会、年次学術講演会をはじめ見学会、講演会、講習会、研究発表会、シンポジウム等の各種催しを記

載した。また終戦前までの講演会等ははできるだけ講演題目と講師名を、戦後については講演数をあげることとされた。なお、各行事の内容は全て「講演○○題」で示したがこれには特別講演を含んでいて、また年次学術講演会は発表論文○○編とし、発表の実数のみとした。

④ 「調査・研究」は、それぞれの目的をもつて設置された委員会を記載した。この場合、他機関からの委託によるもの、親委員会の下部機構として設置された小委員会、部会等もできだげとけとりあげてあるがそれぞれの区別はしていない。

⑤ 「出版」は、学会独自では学会編集、発行したもののほか、委託研究成果、あるいは学会編集、他社発行のものまでを含めて掲載した。また、内容を大部分改めた主要出版物については「改訂版」あるいは「昭和○○年版」として掲載した。

⑥ 「表彰・海外交流・その他」では、会員に授与された勲章や各種の賞、あるいは会員の各種公職への就任、また海外からの来会者等を、判明している範囲で掲載した。

ただ勲章では3等以上をとよりあげたが、それぞれの勲賞の等級や各種の賞についてはそれぞれ位置づけなどが意味をもつものと考ええるが、今回は全て同一に扱っている。また公職への就任についてもその就任月日と共に任期等をも明確にすべきであったが調査不行きであり、他日を期すこととした。

さらに、海外交流でも記載内容が不正確かつ不統一（阿えは人名の原名読みやカタカナ読み、あるいは国名や専門分野記載の有無など）がみられる、それらについては年表としての掲載について若干の逡巡があったが、後日の手がかりとしてあえて掲載した。

以上、本年表については更に時間をかけ、土木学会誌会告欄や略史のみならず、広く関係資料を調査、検証し、正確さと共に統一を期したいと考えている。どうか会員各位の忌憚のないご批判、ご指導をお願いしたい。

（文責：岡本、五老海、藤井）

年次 (年)	会長 副会長 会員数	組織・運営	事業		表彰・海外交流 その他	
			行事・集会	調査・研究		
1914 (大正3)	3.30 古市公威, 土木 学会創立の件について 28名に書を出す 4.6 古市公威, 工学学会 事務所に17名を招請し 定款および規則の草案 を作製するための特別 委員7名を選出 5.29~31 設立有志者 総会の決議を基に趣意 書ならびに定款および 規則案を600余通発送, 発起人承諾者380余名 6.21 設立有志者の会 開催, 創立総会につい て協議 8.10 設立有志者7名 の名義にて発起人総会 開催の通知 11.24 文部大臣より 社団法人土木学会設立 の許可 12.末 寄附金430円を 受領 (寄附者不明)	4.12,17,22,26の各日 特別委員会(古市公威 ほか6名出席) 5.5 設立有志者総会(定款および規則草案提 出) 5.17 設立有志者総会(発起人勧誘を決議) 9.15 発起人総会(築地精業軒)土木学会定 款および土木学会規則を可決 9.22 役員会(法人設立に関して協議) 11.19 役員会(会費等について協議)	12.10 役員会	出版		
1915 (大正4)	1.30 会長 古市 公威, 副会長 沖 野忠雄, 野村龍太 郎 12.末 会員数 1535名	2.17 学会の英語名称 を"Civil Engineering Society."と決定 2.一 学会誌創刊, 第 1巻第1号(縦組で表 紙に目次, 役員写真, 本文目次, 創立経緯紹 介, 論説, 報告, 会務 報告より構成), 隔月刊 3.24 古市・沖野両博 士選層記念資金募集委 員会より15,600円の寄 附金(両博士選層記念 基金) 7.9 福岡県三井郡千 歳治水会長關虎太より 50円の寄附金	1.30 第1回定時総会(築地精業軒) 5.8 第1回講演会「土木工事に応用する衛生 の必要」三宅秀吉, 「隧道の建設について」瀧 山興 9.25 講演会「土地収用法について」岡野敬 次郎, 「倫敦港改良工事について」福田次吉 9.一 万国工学会大会(桑港)に論文提出, 沖野忠雄「本邦河川改修特に淀川改修工事に ついて」 一. 一 役員会(この年12回開催)	9.23 会誌編集委員長に柴田睦作を委 託(初の委員委嘱)	12.1 土木学会会員名簿	
1916 (大正5)	1.24 会長 沖野 忠雄, 副会長 石	1.14 手塚善君より寄 附金(金額不明)	1.22 定時総会(築地精業軒) 5.6~7 視察旅行(足尾銅山)			

<p>黒五十二、古川坂次郎 12. 末 会員数 1727名</p>	<p>1.22 定時総会において土木学会規則を審議、第20条を修正、他は全て原案通り可決 1.31 事務所の移転(東京市麹町区有楽町1丁目1番地に変更) 2.25 文部大臣より事務所移転の許可書受領 3.1 事務所を東京市麹町区有楽町1丁目1番地に移転</p>	<p>6.10 講演会「宇治川電気株式会社第一期水路工事について」永井専三、「印度と南阿」坂井鳴海 10.22 講演会「日本における水力について」森忠蔵、「日本経済財政について」田尻稻次 一、一 役員会(この年11回開催)</p>	<p>6.6 会員古市公威、工学学会会長に就任</p>
<p>1917 (大正6)</p> <p>1.13 会長 野村龍太郎、副会長 廣井勇、古川坂次郎 12. 末 会員数 1856名</p>	<p>1.13 定時総会(帝國鉄道協会) 5.5~6 視察旅行(日立鉱山) 6.22 臨時総会 6.22 講演会「潜航艇について(幻燈説明)」木原耿介 10.20 講演会「日本製鉄事業の将来における二大問題」今泉嘉一郎 一、一 役員会(この年11回開催)</p>	<p>5.15 東京市内交通調査委員会 5.一 農商務省鉱山局長からの照会による鋼質および鋼材の標準規格に関する調査 5.3 工学会からの依頼により明治工業史編纂に関する委員会</p>	<p>6.6 会員古市公威、工学学会会長に就任</p>
<p>1918 (大正7)</p> <p>1.12 会長 石黒五十二、副会長 長谷川謹介、廣井勇 12. 末 会員数 1964名</p>	<p>1.12 定時総会(帝國鉄道協会) 5.4 講演会「氷底隧道について」平井喜久松、「せいの研究」岡田武松 5.5 視察旅行(鐵道院房総線勝山付近における建設工事の状況視察) 6.22 講演会「米国における石炭船積設備について」山田隆二、「交戦諸國陸軍飛行果の現勢」喜刈忠郎 10.26 講演会、石黒会長の視察談、「山崩れの學術的研究」鹽水鏡五郎 一、一 役員会(この年10回、臨時3回開催)</p>	<p>7.一 会長石黒五十二、イギリス土木学会訪問</p>	<p>6.6 会員古市公威、工学学会会長に就任</p>
<p>1919 (大正8)</p> <p>1.18 会長 白石直治、副会長 田貞介、長谷川謹助 4.一 会長 廣井勇(会長白石直治急逝に伴い就任) 12. 末 会員数 2047名</p>	<p>1.18 会費および一時納金の値上げを討議し3月1日より次のとおり実施を決議、会員13円50銭(一時納付金120円)准会員9円(一時納付金80円)、学生員6円 4.10 故白石工學博士記念資金として、遺族白石多士良(会員)君より3000円の寄附金(故白石工學博士記念基金) 12.11 故山崎工學博</p>	<p>3.28 工業用材料ならびに機械類の形状、寸法等、統一に関する委員会</p>	<p>8. 東京市内外交通に関する調査書(会誌第5巻第3号に合本) 12. 土木学会会員名簿</p>

年次 (年)	会長 副会長 会員数	組織・運営	事業		表彰・海外交流 その他
			行事・集会	調査・研究	
		出版			
1920 (大正9)	1.17 会長 仙石 眞, 副会長 中島 鏡治, 原田貞介 12. 末 会員数 2298名	士記念資金として、同記念基金兼委員総代石黒五十二他5名より1,560円の寄附金 1.17 規則を改正 5.11 故白石博士功績記念資金として、故白石博士記念資金兼委員総代原田貞介より10,350円の寄附金(故白石博士記念基金) 6.3 役員会において廣井勇君の寄附金の名称を廣井博士寄附土木賞設置、第1回受賞者、物部長徳 1.17 定時総会(帝國鉄道協会) 5.1 講演会「陸道の権制について」鶴田勝三 5.15~16 視察旅行(桂川水力電気会社および東京電燈会社の土木工事と発電所) 11.16 講演会「野戦における水道」小泉親彦、「欧米の水力工事」森忠蔵 一、一 役員会(この年11回開催)	2. 一 大阪市内外高速交通機関に関する調査会 9.10 東京および横浜付近交通調査会		
1921 (大正10)	1.15 会長 原田 貞介, 副会長 吉村長策, 中島鏡治 12. 末 会員数 2411名	12. 一 工学会に入会 1.15 定時総会(帝國鉄道協会) 4.2 講演会「紐育市高速鉄道工事について」伊藤常夫、「電力統一について」波沢元治 5.14~15 視察旅行(鉄道省上越線工事視察) 10.4 講演会「欧米における都市計画の現況」笠原敬郎、「支那邊境雜談」那波光雄 一、一 役員会(この年9回開催)	12.3 ワデル氏来日、講演会		
1922 (大正11)	1.14 会長 古川 辰次郎, 副会長 中山秀三郎, 吉村長策 12. 末 会員数 2532名	2.22 大正11年2月発行の会誌より1部2円で分与を決議 4.15 原田貞介君より金3,000円の寄附金(原田博士記念基金) 12.13 廣井博士還暦記念祝賀実行委員会より7,000円の寄附金(廣井博士還暦記念基金) 12.26 小川梅三郎君より1,000円の寄附金(小川博士還暦記念基金)	10.12 金属材料抗張試験片特別委員会		
1923 (大正12)	1.20 会長 中原 貞三郎, 副会長	1.20 規則を改正 2.10 富田武夫君より	2.20 工業品規格等一調査会特別委員会 10.17 帝都復興調査委員会		

<p>丹羽勲彦, 中山秀三郎 12. 末 会員数 2623名</p>	<p>500円の寄附金(故富田博士記念基金) 10.14 西尾辰吉君より100円の寄附金 10.14 会誌第9巻第5号, 印刷所震災全壊のため印刷不能に付発行延期を決議 10.26 「帝都復興二閣スル土木学会」建議書」を内閣総理大臣・逓信大臣・鉄道大臣・帝都復興院総裁・東京府知事・東京市長・神奈川県知事・横浜市長に提出。</p>	<p>「英国における路政の沿革と道路の発達」散珍七 5.5~6 視察旅行(利根川下流改修工事および銚子築港) 6.30 講演会「東京市の道路」竹内季一 12.8 帝都復興聯合協議会の土木学会代表として岡野昇, 丹羽勲彦, 比田孝一君を推薦 一, 一 役員会(この年9回, 臨時2回開催)</p>	<p>1.16 震害調査委員会 1.19 東京都市内外高速鉄道調査委員会</p>	<p>一・一 会員(仙石寅, 鉄道大臣に就任)</p>
<p>1924 (大正13)</p> <p>1.19 会長 中山秀三郎, 副会長 岡野昇, 丹羽勲彦 12. 末 会員数 2659名</p>	<p>2.12 故石黒五十二君記念金集実行委員より7,000円の寄附金(故石黒工学博士記念基金) 二, 一 本年2月発行の会誌第10巻第1号から組み方を縦組から横組へ変更, 加えて「かな」が「かたかな」から「ひらがな」に変更 3.10 川崎寛美君より3,000円の寄附金(震害調査費に充当) 7.18 近藤光之君より4,300円の寄附金(故近藤工学博士記念基金)</p>	<p>1.19 定時総会(帝國鉄道協会) 3.1 講演会「震災に關する被害ならびに応急処置の概況」小川謙三・加賀山学・曾山親民 4.11 講演会「東京都市計画画士地区画整理について」直木倫太郎, 「東京市道路橋梁に対する震害被害および応急概況について」竹内季一 4.27 視察旅行(村山貯水池および同境浄水場) 7.2 講演会「帝都復興計画について」太田田三, 「横浜港の震害と復旧工事」安芸杏一 11.15 講演会「米国における隧道工事について」堀越清六, 「米国における市街橋樑感」谷井陽之助 一, 一 役員会(この年11回開催)</p>	<p>1.17 震害調査委員会 1.19 東京都市内外高速鉄道調査委員会</p>	<p>一・一 会員物部長, 構造物の振動殊に耐震性の研究で学士院恩賜賞受賞</p>
<p>1925 (大正14)</p> <p>1.17 会長 中島鏡治, 副会長 堀恭次郎, 岡野昇 二, 一 会長 日下部辨次郎(会長中島鏡治急逝に伴い(兼任)) 12. 末 会員数 2741名</p>	<p>4.20 故飯田貞明君記念事業取扱者の井上秀二君より1,250円の寄附金(故飯田貞明君記念基金) 4.20 中島清夫君より3,000円の寄附金(故中島工学博士記念基金) 9.24 故岡崎芳樹君記念金集実行委員総代, 真田秀吉君より2,000円の寄附金(故岡崎工学博士記念基金)</p>	<p>1.17 定時総会(帝國鉄道協会) 3.14 講演会「橋梁の基礎工事および地下鉄道について」デイ・ヒューズ, 「工事状況の映画化」金森誠之 5.16~17 視察旅行(清水港視察) 7.8 講演会(題目, 講師不明) 11.6 講演会(題目, 講師不明) 一, 一 役員会(この年10回, 臨時3回開催)</p>	<p>2. 一 復興局長官より, 土木工事震害に対する調査の依頼あり, 同年4月経費15,000円で受託</p>	<p>一・一 会員物部長, 構造物の振動殊に耐震性の研究で学士院恩賜賞受賞</p>

年次 (年)	会長 副会長 会員数	組織・運営	事業		表彰・海外交流 その他
			行事・集会	調査・研究	
1926 (大正15) (昭和1)	1.16 会長 吉村 長策, 副会長 那 波光雄, 市瀬恭次 郎 12. 未 会員数 2826名	6.16 本会の功労者に 対し誌上に肖像および 伝記を掲載することを 決議, 最近発行の会誌 に故郷議員太田田三君 の掲載決議 12.24 故太田田三君 遺族甲斐金集取取岩 平山復二郎君より 2,500円の寄附金(故工 学士太田田三君記念基 金)	1.16 定時総会(帝國鉄道協会) 4.8 講演会「獨逸の河川について」辰馬謙藏 5.15~16 視察旅行(利根川および江戸川改 修工事その他) 6.16 講演会「船渠について」乾慶藏 11.2 臨時講演会「大都市の悪感」レオナル ド・エル・スミス 11.30 講演会「東京より見たる欧米の公園」 井上清 一, 一 役員会(この年10回, 臨時2回開催)	8. 大正12年関東大地震被害調査報告書, 第1巻 12. 土木学会会員名簿 一, 東京・横浜付近交通調査報告書(会誌 第12巻第2号に合本)	
1927 (昭和2)	1.15 会長 市瀬 恭次郎, 副会長 井上秀二, 那波光 雄 12. 未 会員数 2957名	1.30 事務所を東京市 豊町区永楽町1丁目1 番地丸の内ビルディン グ第460号室に移転 2.17 事務室賃借に関 する三菱地所部との契 約書を承認 7.20 会誌に土木工事 関係の広告を掲載し, 増取を計ることを決議 12.16 関西支部設置 (支部長 真田秀吉)	1.15 定時総会(帝國鉄道協会) 3.29 講演会「欧米の道路を視察して」平川 保一 4.28~30 視察旅行(大井ダムおよび鉄道省 本曹川橋梁工事その他) 6.28 講演会「南米ブラジル旅行談」谷口 三郎 11.3~7 連合工学会(日本工学会ほか12 学会連合開催), 市瀬会長講演「明治維新以来 我国土木施設の一斑」 11.4 工学会土木部会講演会(1日目) 11.5 工学会土木部会講演会(2日目) 一, 一 役員会(この年11回, 臨時1回開催)	1. 大正12年関東大地震被害調査報告書, 第2巻 12. 大正12年関東大地震被害調査報告書 第3巻	
1928 (昭和3)	1.21 会長 岡野 君, 副会長 中川 吉造, 井上秀二 郎 12. 未 会員数 3034名	1.25 編輯委員増員 (6名から7名を決議) 1.28 関西支部第1回 総会を大阪市で開催 7.8 事務所を東京市 豊町区八重洲町1丁目 1番地(時事ビル内) に移転 10.30 会誌を昭和4 年度第15巻第1号より 月刊とすることを決議 10.31 日本ポルトラ ントセメント同業会技 術会より混凝土調査会 調査費用中へ寄附金	1.21 定時総会(生命保険会社協会) 1.28 関西支部発会式(米賀はか会員400名出 席) 3.30 講演会「鉄道防雪施設について」鷺谷 龍雄 5.12~15 視察旅行(北陸地方庄川水電およ び日本電力発電工事) 6.26 講演会「ミシシッピ一河における1927 年の大水害およびその善後策について」金古 久次 一, 一 役員会(この年10回, 臨時1回開催)	一, 大東京高速鉄道調査会報告書(未定稿) 一, 大東京高速鉄道調査会報告書 附図	2.21 イギリス土木学 会百年記念式に本会代 表(ロンドン駐在会員 永田民地)参加

1929 (昭和4)	<p>1.19 会長 田辺 潮郎, 副会長 八田嘉明, 中川吉造 12. 末 会員数 3116名</p>	<p>1. 一 会誌が隔月から毎月発行となる(第15巻第1号から) 6.4 事務所を東京市麹町区丸の内2丁目18番地に変更登記 6.27 故廣井工学博士記念事業委員長中山秀三郎君より英和工学辞典著作権の無償譲渡ならびに金2,000円の寄附(著作権管理費とし)(故廣井工学博士記念基金に編入) 12.15 本邦土木工事に対する功勞者フアン・ドールン氏の銅像建設計画の発起者になることおよびそれに関するし、感謝状を贈呈することを承認 12.15 明治初年以來、本邦土木工事に対する功勞者の伝記を会誌に登載することを決議</p>	<p>1.19 定時総会(帝國鉄道協会) 3.25 講演会「和蘭における世界的土木事業について」森田三郎、活動写真「隅田川橋梁復興の実況」 4.28~29 視察旅行(京阪地方における土木工事その他) 10.29~11.7 万国工業会議(主催:工学会) 一、一 役員会(この年11回開催)</p>	<p>6.23 万国工業会議論文委員として田中 豊君を推薦</p>	<p>5.14 ウィリアム・ハバート・バー氏来日、講演会</p>
1930 (昭和5)	<p>1.18 会長 中川 吉造, 副会長 眞島健三郎, 八田嘉明 12. 末 会員数 3210名</p>	<p>1. 一 土木学会誌の月刊化決定 8.20 事務所を東京市麹町区丸の内1丁目6番地1(海上ビルディング5階505号室)に移転 12. 末 会員数 3196名</p>	<p>1.18 定時総会(帝國鉄道協会) 5.10~11 視察旅行(鉄道省上越線清水發電工事ほか) 5.27 講演会「軌道にある平面交叉分離(Grade Separation)について」川口利雄 9.26 座談会「東京市の下水道について」 一、一 役員会(この年10回開催)</p>	<p>12.15 万国工業会議の「レゾリューション」に関する委員会の本会代表として中川吉造現会長を推薦</p>	<p>6. 土木工事写真集(会誌臨時増刊として) 12. 土木学会会員名簿</p>
1931 (昭和6)	<p>1.17 会長 那波 光雄, 副会長 前川貫一, 眞島健三郎 12. 末 会員数 3196名</p>	<p>3.5 世界動力会議大塚塊国際委員会日本国内委員会 5.26 日本工学会申出に係る用語統一調査委員会に委員2名を選出 8. 一 土木建築士法案調査委員会</p>	<p>1.17 定時総会(帝國鉄道協会) 3.21~22 視察旅行(伊豆地方清水港鐵道状況視察) 4.14 講演会「赴歐江水電工事について」松村種雪 5.18 座談会「各種塊について」 7.15 座談会「請負について」 10.7 講演会「軌道における米諸国の道路について」藤井巖彦 10.9 会員久保田敬一君の鉄道次官就任祝賀会 10.14 座談会「軌道における獨逸構造界について」</p>	<p>9. 昭和6年土木学会鉄筋コンクリート標準示方書 10. 昭和6年土木学会鉄筋コンクリート標準示方書解説 12. 土木学会会員名簿</p>	<p>10. 一 和蘭土木技師コルネリス・ヨハンネス・フアン・ドールン氏の銅像竣工、猪苗代湖畔にて除幕式、那波会長列席祝辞</p>

年次 (年)	会長 副会長 会員数	組織・運営	事業			表彰・海外交流 その他
			行事・集会	調査・研究	出版	
1932 (昭和7)	1.11 会長 名井久介, 副会長 大戸宗治, 前川貫一 12. 末 会員数 3210名	9.9 定款および規則を改正, 名番員, 特別員設置	10.31~11.2 応用力学天会(本会ほか4学会連合主催) 一, 一 役員会(この年10回開催) 1.11 定時総会(帝國鉄道協会) 4.5~9 第2回工学会大会, 本会代表副会長 大河戸宗治「鉄筋コンクリートの将来について」講演 4.6 工学会土木部会講演(1日目) 4.7 工学会土木部会講演(2日目) 4.8~9 (工学会) 通信講演会「最近の満蒙における鉄道について」長根橋根二 4.28~29 視察旅行(省線大阪改良工事, 大阪市営地下鉄道工事ほか) 6.7 講演会「将来における都市防衛と建造物について」山内静夫 11.4 臨時総会(帝國鉄道協会) 一, 一 役員会(この年9回, 臨時1回開催)	9. 一 維新以前日本土木史編纂委員会 進示方書(再版) 1. 昭和6年土木学会鉄筋コンクリート標準示方書解説 12. 土木学会会員名簿		
1933 (昭和8)	1.20 会長 眞田秀吉, 副会長 米元晋一, 大河戸宗治 12. 末 会員数 3159名	1.20 定時総会において古市男爵を名誉会員に推挙 1.27 故元雅雄君遺族より500円の寄附金(故坂本雅雄記念基金) 5.23 地方委員制度を設け, 各地方の報告, 入会者の勧誘等依頼することとし, 委員の運を役員会で協議 5. 一 故川上浩二郎君遺族より1000円の寄附金(故川上浩二郎博士記念基金) 11.30 定款を一部改正, 正員の資格を緩和	1.20 定時総会(帝國鉄道協会) 3.4 座談会「満洲をめぐ」 3.30 講演会「最近の満洲事情について」柴山兼四郎 5.6~7 視察旅行(熱海線桌越, 丹那の面壁道工事ほか) 6.27 講演会「北鮮の鉄道視察談」山田隆二, 「欧米の管見」田中豊, 「満洲視察談」木津正治 10.11 臨時総会(帝國鉄道協会) 10.28~29 視察旅行(東京府下大島の視察) 一, 一 役員会(この年11回, 臨時2回開催)	1.27 振興委員会 5. 一 創立20周年記念委員会 6.19 日本標準型鋼調査委員会 6. 一 日本工学会工業博物館建設委員会に本会代表として井上秀二君を選出 6. 一 日本工学会セメント試験方法調査委員会に本会代表として, 大河戸宗治, 吉田徳次郎, 野坂孝忠3君を選出	12. 土木学会会員名簿	
1934 (昭和9)	2.15 会長 久保田敏一, 副会長 草間傳, 米元晋一 12. 末 会員数 4492名	3.19 土木学会敬章制定を決定, 森井健介君にデザイン依頼 7.29 事務所を東京市麹町区丸の内3丁目6番地に移転	2.15 通常総会(帝國鉄道協会) 3.24 見学会(川崎市東京電気株式会社工場, 明治製菓株式会社工場ほか) 5.12 見学会(山口貯水池) 6.9~11 視察旅行(鉄道省信濃川筑電所工事ならびに新潟港の視察) 6.26 講演会「近代建築洋式について」岸田日出刀, 「テレビジョンについて」山本忠興 7.7 見学会(横浜港をらびに東京理立地)	2.22 会館設立準備委員会 3.19 土木工学会論文抄録編集委員会満蒙における鉄道について」 3. 一 創立20周年記念土木工学会論文編集委員会 3. 一 創立20周年記念土木学会誌編集委員会 3. 一 創立20周年記念講演委員会 4. 一 創立20周年記念会館に関する委	10. 土木工学会論文抄録, 第1集 12. 創立20周年記念土木学会略史(会誌第20巻第12号に合本) 12. 土木学会会員名簿	10.24 会長久保田敏一, 「国民より親たる土木工学」をラジオ講演 一, 一 会員中山秀三郎, 学士院会員に推挙

1935 (昭和10)	2.15 会長 青山士、副会長 平井喜久松、草間偉 12. 末 会員数 5766名	2.8 古市六三君より故男爵古市公波君記念土木賞贈呈基金として500円の寄附金 2.15 昭和10年1月1日より昭和10年12月末までに入会を承認された会員、進員、学生員に対して特別に入会金を免除することを決議 5. 一 日本学術振興会より2回にわたって、明治以前日本土木史編纂補助として2,000円の寄附金 6.17 東亞部設置(東洋部より名称変更)部長に平井喜久松 7.30 故來島良亮君記念碑建設發起人代表香坂昌藤君より500円の寄附金(故來島良亮君記念土木賞贈呈基金) 10.23 会務分掌のため法制部、調査部設置 12.28 株式会社間組社長小谷清君より東亜事業部資金として1,000円の寄附金	9.29 見学会(内閣印刷局瀧野川工場並びに理化学研究所) 10.26 創立20周年記念祝賀会(米賓鉄道大臣ほか42名) 10.27~28 創立20周年記念見学会、第1日「東京地方専売局業平工場ならびに新帝國議事堂建築」、第2日「東京市中央郵売市場、東京築港台場および東京芝浦下水處分場」 11.18 視察旅行(富士五湖ならびに箱根) 一、一 役員会(この年11回、臨時4回開催) 2.15 通常総会(帝國鉄道協会) 4.6 見学会(大日本茶酒口工場、大宮公園および9号国道) 4.16 講演会「飛行機による地形測量について」篠村彦、「地震動について」石本巳四雄 5.5 視察旅行(香取鹿島神社参拝、霞ヶ浦航空隊、濱利根門ほか) 6.4 講演会ならび映画会、講演「昭和9年関西風水害気象について」ほか映画3本。 7.10 映画会「上越線清水隧道三角測量検測ほか5本」 9.25 会員5000名栄冠祝賀会 10.27~28 視察旅行(第1号国道、5大橋、名古屋港ほか) 一、一 役員会(この年10回、臨時1回開催)	員会 5. 一 創立20周年記念祝賀準備委員会 10. 一 関西地方風水害調査委員会	5. 一 台湾地方震災調査委員会 6. 一 コンクリート調査委員会 11. 一 定款および規則改正委員会	5.18 東亜調査委員会、東亜連絡委員会 5. 一 土木技術者相互規約調査委員会 5. 一 請負工事標準契約書調査委員会 5. 一 行政機構改正調査委員会 5. 一 網橋示方書調査委員会 5. 一 土木士法案調査委員会	6. 明治以前日本土木史 8. 昭和10年台湾中部地方震害調査報告書 10. 昭和9年関西地方風水害調査報告 10. 昭和11年土木学会鉄筋コンクリート標準示方書 10. 昭和11年土木学会鉄筋コンクリート標準示方書	7.6 イギリス土木学会と会誌交換
1936 (昭和11)	2.14 会長 井上秀二、副会長 馬兼蔵、平井喜久松 12. 末 会員数 6144名	1.24 王子製紙株式会社社長藤原銀次郎君より事業資金として1,000円の寄附金 2.7 服部報公会より明治以前日本土木史編纂補助として1,000円	2.14 通常総会(帝國鉄道協会) 4.30 講演会「ニューヨーク、ハドソンおよびトリバーにおけるシールド工法について」エル・アール・クラフト 5.10 視察旅行(箱根自動車専用道路、宇佐美隧道(網代口)工事ほか) 6.10 講演会ならびに映画会、講演「昭和10	5.18 東亜調査委員会、東亜連絡委員会 5. 一 土木技術者相互規約調査委員会 5. 一 請負工事標準契約書調査委員会 5. 一 行政機構改正調査委員会 5. 一 網橋示方書調査委員会 5. 一 土木士法案調査委員会	6. 明治以前日本土木史 8. 昭和10年台湾中部地方震害調査報告書 10. 昭和9年関西地方風水害調査報告 10. 昭和11年土木学会鉄筋コンクリート標準示方書 10. 昭和11年土木学会鉄筋コンクリート標準示方書	7.6 イギリス土木学会と会誌交換		

年次 (年)	会長 副会長 会員数	組織・運営	事業		表彰・海外交流 その他	
			行事・集會	調査・研究		
		<p>の寄附金 3.14 定款を一部改正、理事3人を9人に増加し、常議員会と理事会を分離、実質的な理事会制度の設置。 4.1 中山秀三郎君より土木賞奨励金として5000円、記念基金として2,000円の寄附金 5.28 会誌発行日を7月より毎月1日に後更することを決定(これまでは25日発行) 6. 一 東北支部設置 10.26 常議員会で年次学術講演会開催に関する件を原案可決、大学、専門学校所在地を並び4月に開催、日本工学会大会開催年は開催せず2日間開催を可決、昭和12年度は京都で開催することを決議</p>	<p>行事・集會 年利根川未曾有の大出水について」金森威之、ほか映画2本 7.30 大堰堤を語る講演と映画の会(共催)。 講演「奥多摩小河内貯水池堰堤について」小野基樹、映画「ワシントン第3回世界動力会議ならびに第2回大堰堤会議は拓く、ポルダ一堰堤の工事実況」 9.29 講演会(満洲國土木技師養成校)(シヤムデューラ)。 10.10～11 視察旅行(東京電燈株式会社小野川発電所工事ほか) 10.23 講演会「土木工作物に対する爆弾の威力について」鎌田登一 一、一 役員会(この年4回、臨時4回開催、4月以降理事會、常議員會) 一、一 理事會(昭和10年4月より12月まで16回開催) 一、一 常議員會(昭和10年4月から12月まで8回開催)</p>	<p>調査・研究 9. 一 土木学会用語調査常置委員会 9. 一 財政調査委員会 9. 一 土木文化映画作成委員会(12.14より文化映画委員会と改称) 10.5 杭の支持力公式委員会</p>	<p>出版 11. 舟艇陸道工事誌 11. 土木工学用語集 12. 土木学会会員名簿</p>	
1937 (昭和12)	2.14 会長 大河戸宗治、副会長 新井善吉、長馬謙藏 12. 末 会員数 6726名	<p>1.25 工学博士岡崎文吉君より記念基金として1,000円の寄附金 1.25 水野基次郎君より3000円の寄附申出、常議員会において同君を賛助員に推薦 4.5 伊能忠敬翁顕彰会より申出の伊能忠敬翁遺物保存館建設寄附金募金に対し学会の名を以て印刷物に依り勸誘(1万円以上の金額で会員、准員が対象) 4.19 農業土木学会、化学機械協会、台湾技術協会と学会誌の交換を決議 5.17 東亜鉄道研究会より事業資金として</p>	<p>行事・集會 1.28 講演会(共催)。講演「ポールダーダム工事について」野基樹、「第3回世界動力参加報告(附映画、米国における堰堤工事の実写)」石井謙一郎 2.15 通商総会(帝國鉄道協会) 4.10～12 第1回年次学術講演会(京都帝國大学)発表論文93編 5.8～9 視察旅行(関東水力電気株式会社社在久発電所ほか) 5.10 中華民國全國經濟委員會水利處簡任技師汪胡機君ほか7名の歓迎晩餐會 5.28 講演会「欧米土木事業視察談」山下輝夫、「欧米の橋梁を見て」堀威夫 6.3 講演会および映画會、講演「最近における除雪作業について」山田三男、ほか映画 9.4 講演会および映画會、講演「支那事変について」大久保弘一、ほか映画 11.9 東北支那奉送式(来賓21名、会員213出席)会長記念放送「東北振興と土木」、講演会</p>	<p>調査・研究 2.19 オリソピック大会土木施設調査委員会 2.19 防空施設研究委員会 3.8 企画委員会 9. 一 地下構造物における鋼材節約委員会</p>	<p>出版 12. 土木学会会員名簿</p>	

<p>7,000円の寄附金</p> <p>5.26 故古市男爵記念事業会に対し1,000円を寄附</p> <p>6.7 古市六三君より前会長男爵古市公藏君の肖像寄贈</p> <p>8.1 非売品の会誌を定価制とし、同年8月1日発行のものより定価11円</p> <p>8.13 東北支部設置(支部長 鶴見一之)</p> <p>8.28 支那事委のため応召された会員、准員、学生会員に対し出征中会費の免除を決議</p> <p>10.18 特別員の広告を会誌に無料掲載</p> <p>12.12 北海道支部設置(支部長 吉町太郎一)</p> <p>一、一 会誌での有料広告を始める。</p>	<p>「仙台トネルの話」平山復二郎、「東北工業会社の事業とその使命」金森太郎</p> <p>11.11 講演会および映画会、講演「支那事委について」水野恭介、ほか映画</p> <p>一、一 理事会(この年21回開催)</p> <p>一、一 常議員会(この年12回開催)</p>	<p>12. 土木学会会員名簿</p>	<p>6.11 支那方面土木事業視察および現地会員懇問</p> <p>8.20 北支那方面土木事業視察および現地会員懇問</p> <p>11.22 中華民国臨時政府建設総署長、殷同若を招待し茶話会</p> <p>一、一 会員八田嘉明、折務大臣に就任</p>
<p>2.14 会長 辰馬謙藏、副会長 新井栄吉、平山復二郎(副会長辞任につき堀越清六就任)</p> <p>12. 末 会員数 8110名</p>	<p>2.14 通常総会(帝國鉄道協会)</p> <p>4.15 講演会および映画会、講演「中支の水道について」岩崎富久、講演「最近の北京鉄道について」尾島重次郎、ほか映画</p> <p>4.23~24 北海道支部発会式(来賓および講演会10名、会員209名出席)記念講演「我が土木技術者の自覚」新井榮吉、「支那開発と技術」宮本武之輔、「鉄道土木技術轉近の趨勢」樋口行彦</p> <p>5.14~15 視察旅行(東北支那と合同で東北振興電力株式会社発電所工事ほか視察)</p> <p>5.24 晚餐会(土木学会代表中支視察委員を招待)</p> <p>5.29 中部支部発会式(来賓22名、会員220名出席)講演会「河水統制について」高橋嘉一郎、「事変と鉄道改良計画」山中良樹、「コンクリート高麗堤築造について」大西英武</p> <p>6.13 午餐会(内務省関係の学会地方委員を招待)</p> <p>7.11 特別員招待会</p> <p>7.12 講演および映画会、講演「中支土木事業について」井上秀二・青土士・橋本敬之、ほか映画</p> <p>7.12 映画会「土木学会代表視察員中支視察の実況」</p> <p>7.16~17 第2回年次学術講演会(北海道帝</p>	<p>3.22 時局対策委員会</p> <p>6.6 外人功績調査委員会</p> <p>6.17 黄河決潰対策委員会(時局対策委員会)の中に設置、のち黄河研究委員会と改称) 6.20 土木工学会論文抄録編集委員会</p> <p>8. 一 関東および関西地方水害調査委員会</p>	<p>12. 土木学会会員名簿</p>

年次 (年)	会長 副会長 会員数	組織・運営	事業		表彰・海外交流 その他	
			行事・集会	調査・研究		
			国大等) 發表論文86編 7.29 協議会(関東および関西地方水害調査委員会に関する事項について) 10.11 講演会および映画会、講演「北支土木事業について」大河戸宗治・新井榮吉、ほか映画 10.16~17 西部支部発会式(来賓12名、会員198名出席)講演会「ヒットラー道路について」久野重一郎、「関門隧道について」釘宮警、「時局における帝國海軍の使命」三坂直廉 11.15 会員8000名突破祝賀晩餐会兼会員八田嘉明君の拓務大臣親任祝賀会 11.22 第1回支部長会議 一、一 理事会(この年22回開催) 一、一 常議員会(この年13回、臨時1回開催)			
1939 (昭和14)	2. 一 会長 八田嘉明、副会長 谷口三郎、堀越清六 12. 末 会員数 9154名	7.19 故野口蔵君記念基金として1,000円の寄附金 9.25 朝鮮支部設置 11.9 南滿洲鉄道株式会社より25周年記念事業資金として10,000円の寄附金 12. 末 日本製鉄株式会社より25周年記念事業資金として36,872円03銭の寄附金	2.14 通常総会(帝國鉄道協会) 4.14 講演会および映画会、講演「土木と映画」瀧尾達也、ほか映画 5.20~21 視察旅行(愛媛水力発電所ほか) 6.8 講演会および映画会、講演「秋田県鹿地方鑛害について」高井信一・松村孫治、ほか映画 6.9 第1回土木材料節約に関する座談会 10.18 創立25周年記念晩餐会 10.19~20 創立25周年記念講演会(講演23題) 10.19~20 25周年記念見学会(鉄道省大宮工場、東京港、キリンビール横浜工場等) 11.28 談話会「シヤム国事情並に大同炭輸送計画について」稻垣茂樹・立花次郎君の談話 12.8 講演会および映画会、講演「黄土を浴て」青木楠男、ほか映画 一、一 理事会(この年23回開催) 一、一 常議員会(この年12回、臨時1回開催)	4.24 創立25周年記念講演委員会 4.24 創立25周年記念事業資金調達委員会	10. 創立25周年記念土木学会略史 10. 土木工学論文抄録、第2集 11.25 「土木学会略史創立25周年記念」 12. 土木学会会員名簿	一、一 会員八田嘉明、 商工兼拓務大臣に就任
1940 (昭和15)	2.15 会長 中村謙一、副会長 吉田徳次郎、谷口三郎 12. 末 会員数 (20名→24名)	2.14 本年1月より職員に臨時手当支給を決議 2.15 常議員を増員(20名→24名)	2.1 セメントの増産ならびに配給の円滑に関する協議会 2.7 静岡市大火火災視察報告会 2.15 通常総会(帝國鉄道協会) 4.2~5 工学大会土木部会講演会(提出論文	3.18 昭和14年早害調査委員会 4.22 定款改正委員会 6.17 水理公式調査委員会 12.9 防支土木委員会	3. 鋼鉄道橋標準設計示方書(会誌第26巻第7号に合本) 5. 昭和15年土木学会鉄筋コンクリート標準示方書 8. 昭和15年土木学会鉄筋コンクリート標	

1941 (昭和16)	2.17 会長 谷口三郎、副会長 黒田武定、吉田徳次郎 12. 末 会員数 11216名	4.13 大同電力株式会社より学術研究事業費として金20,000円の寄附金 5.17 定款を一部改正、常議員を増員 9. 一 満州土木学会設立 6.22~23 視察旅行(群馬県天神沢砂防工事ほか) 10.18 講演会「阿弗利加および南米を旅して」太田尾広治、「新体制について」井田登橋 12.18 講演会および映画会、講演「三國々道の話」水山嘉徳、ほか映画 一、一 理事會(この年24回開催) 一、一 常議員會(この年12回開催)	6.9 防空土木施設促進委員会 8.20 対爆調査委員会	8. 国難打開課題 11. 関東及び關西地方水害調査報告書	一、一 会員八田嘉明、鉄道大臣に就任 一、一 一 会員釘宮馨、有馬宏、加納俊二、久保田豊、佐藤時彦、玉置正治の各氏昭和16年朝日賞(文化賞)受賞
1942 (昭和17)	2.16 会長 草間傳、副会長 鈴木雅次、黒田武定 12. 末 会員数 12896名	2.17 總會において野村龍太郎、田辺朝郎、古川阪次郎の3名の名譽会員推挙 3.14 一時紓付会費(正会員池辺福生、120円)の基金編入を決定 3.26 定款を一部改正、満洲土木学会員は本会会員とみなす 7.4 華北支部設置(支部長 三浦七郎) 8.4 中国・四国支部設置(支部長 佐土原勲) 12.22 故物部長 櫻君遺族より土木賞牌基金として6000円の寄附金 2.16 満洲土木学会第1回常議員會 2.6 東部軍経理部へ会誌の寄贈を決定 2.6 土木学会誌表紙裏面の赤字印刷を第28巻第3号より廃止することを決定 3.23 満洲国立開拓研究所資料室へ会誌28巻1号から寄贈 6.8 大学院生の資格を希望により准会員扱いを決議	2.16 通常總會(帝國鉄道協會) 4.5 支部長會議 10.31~11.1 第3回年次学術講演會(九州帝國大学)發表論文91編 12.13 講演会および映画会、講演「鴨緑江の話」星野三郎、「雪の話」稻積豊二、「タコマ橋」青木楠男、ほか映画 一、一 理事會(この年20回開催) 一、一 常議員會(この年16回、臨時1回開催)	2. 建設機械研究委員会 3.23 大東亜建設調査委員会 10.19 日本標準規格番号調査委員会	2. 明治以後本邦土木と外人 2. 防空土木緊急対策 6. 土木学会会員名簿 7.8 桁の支持力公式調査委員会報告、学会誌 28-9. 10.26 水理公式調査委員会の成案が印刷中に焼失、未刊となる

年次 (年)	会長 副会長 会員数	組織・運営	事業		表彰・海外交流 その他
			行事・集会	調査・研究	
			出版		
1943 (昭和18)	2.15 会長 黒河内海清温、鈴木雅次 14397名 12. 末 会員数 14397名	7.6 日本出版文化協会、本会発行の書籍の例外配給を承認 9.15 故前会長中川吉造君遺族より記念基金として3,000円の寄附金	2.15 通常総会 (帝國鉄道協会) 7.22 第5回年次学術講演会 (名古屋市内にて準備中であつたが中止、既に提出した論文は年次学術誌上講演として取扱う) 12.4 台湾支部創立総会 (來賓23名、会員93名出席) 講演会「清水溪天然堰堤について」磯田謙雄、「航空燃料の常識」安藤一雄、「帝國海軍と航空作戦」原直久 一、一 理事会 (この年14回開催) 一、一 常議員会 (この年10回、臨時2回開催)	2.8 昭和17年調査委員会 6.14 戦時規格委員会 9.13 鳥取地震調査委員会 10.18 西部地方風水害調査委員会 5.8 建設力統制研究委員会 11. 一 定款調査特別委員会	一、一 会員八田嘉明、運輸通信大臣に就任
1944 (昭和19)	2.15 会長 鈴木雅次、副会長 佐土原勲、内海清温 5.22 会員数 14728名	3. 一 土木学会誌臨時、増刊特輯論文集を発行 (現論文報告集の発行) 5. 一 会誌第30巻第4,5号発行後発行を停止 (工具徴収、材料不足、印刷所消失、学会職員の罹災等のため) 6. 一 昭和19年6月現在会誌定価2円	2.15 通常総会 (帝國鉄道協会) 一、一 理事会 (この年5回開催) 一、一 常議員会 (この年5回、臨時1回開催)	5.8 土木技能者養成機関設置委員会 1.10 飛行場急速建設論文審査委員会	2. 昭和18年9月鳥取地方震害調査報告(会誌第30巻第2号に合本)

1945 (昭和20)	2.14 通常総会 (土木学会)	1. 事務所を再び麴町区丸の内3丁目6番地、ユニオン館へ移転	1. 常議員会 (この年2回開催)	1. 水理委員会 12. 新聞編集委員会	1. 会員杉山宗次郎、長崎県知事に就任	
1946 (昭和21)	1. 会長 鹿島 精一、副会長 島 茂、佐土原 明 2. 会員数不明	5.18 総会において吉野太郎、牧彦七、生野圃六の3名の名譽会員推挙 5. 一 会誌を再刊行し第31巻第1号とする (次号は昭和22年8月第32巻1号にとぶ) 6.8 常議員会において事務所の移転を決定 6.15 事務所を東京都京橋区新川2丁目12番地に移転 10.5 定款を全面改正、正員資格緩和、入金金廃止、理事制確立、常議員選出地域の全国化、常議員24人を50人以内増加、会計年度の変更、 11.15 新聞編集委員会 (委員長奥田教朝) を設置し、土木ニュースを発行、月刊、昭和24年12月15日発行第38号で廃刊	1. 常議員会 (この年1回開催)	3. 一 最近土木技術史編集委員会 7.29 用語委員会 8. 一 土木工学叢書委員会 9.12 コンクリート常設委員会 10.1 日本土質基礎工学委員会	8. 南勝大地震災害報告 (会誌第32巻第1号に合本) 12. 土木学会会員名簿	1. 一 会員大西英一、日本放送電 (株) 総裁に就任
1947 (昭和22)	1. 会長 岡田信次、副会長 加藤伴平、広瀬孝六郎 2. 会員数不明	8. 一 会誌の花畑20円となる	5.29 通常総会 (丸の内交通協会) 7.31 北陸地震講演会 8.16~21 夏期講習会「土木における災害と対策」 10.11 支部長会議	3. 一 東北関東水害報告 (会誌第33巻第1号に合本) 7. コンクリート電気養生施工法指針 9. 新英和工学辞典、第2版 10. 水理公式集 (原案) 11. 下水道学前編 (土木工学叢書) 12. 昭和23年北陸地震災害調査報告 (会誌第33巻第4号に合本)	1. 一 会員山口鹿蔵、室蘭工大 (旧北大専門部) 学長就任	
1948 (昭和23)	3. 末 会員数 16925名 5.29 会長 岩澤 忠恭、副会長 廣瀬孝六郎、田中茂美	3.27 会費を正会員 3000円、准会員2700円、学生会員2400円、特別会員: 1級3,000円、2級2,000円、3級1,000円に改正				

年次 (年)	会長 副会長 会員数	組織・運営	事業		表彰・海外交流 その他
			行事・集会	調査・研究	
1949 (昭和24)	5.28 会長 吉田 徳次郎, 副会長 大西英一, 田中茂美 10. 一 会員数 18142名	3. 末 会費を正会員500円, 准会員500円, 学生会員400円, 特別会員: 1級6,000円以上, 2級4,000円, 3級2,000円, 正会員の一時納付20年で終身会費完納年数に応じた一時納付方法, 10年以上15ヶ年分, 20年以上10ヶ年分, 25年以上7ヶ年分, 30年以上4ヶ年分とする。賛助員一時に3万円以上, と改正 4.13 事務所を中央区大手町2の4に移転 4. 一 職場班結成運動開始 10.24 会誌定価を1部80円に改正 12. 一 本年12月の38号を以て土木ニュース終刊, 25年1月から学会誌に合併, 月刊とする 一, 一 学会誌英名, THE JOURNAL OF SOCIETY OF CIVIL ENGINEERS と決定	5.21~22 第5回年次学術講演会(名古屋工業大学) 発表論文107編 5.28 年次総会(名古屋工業大学) 7.25~27 夏期講習会「コンクリート標準示方書」 10.8~9 合同講演会(共催) 8日「土, 粉体, 粒体について」, 9日「構造について」 12.9 講演会「常盤線小見河橋梁改良工事について」田中倫治, 「軌道測定車について」坂芳雄, 「山陽電鉄加古川橋梁橋脚振動調査報告」岡部達郎 12.19~21 水理講習会(水理公式集の発刊を機としてその内容の解説) 一, 一 理事会(この年2回開催) 一, 一 常議員会(この年2回, 臨時1回開催)	3. 木構造学(土木工学叢書) 7. 昭和24年土木学会コンクリート標準示方書 8. 閩門隧道 8. 上水道学前編(土木工学叢書) 9. 昭和24年土木学会水理公式集	一, 一 会員田中豊, 学士院会員に推挙 一, 一 会員原口忠次郎, 神戸市長に就任 一, 一 日本学術会議会員に本会会員安芸一, 田中豊, 中原寿一郎, 末松榮, 大坪喜久太郎が当選
1950 (昭和25)	5.26 会長 三浦 義男, 副会長 稲浦廣藏, 大西英一 12. 末 会員数 9919名	1.9 土木学会の英訳を次のとおり決定 土木学会: Japan Society of Civil Engineers 会誌: Journal 論文集: Transaction	1.19 講演会「アメリカの鉄道工事について」田中茂美 4.16 測量講習会 5.27 通常総会(東大法学部) 5.27~28 第6回年次学術講演会(東京大学工学部) 発表論文111編 5.28~29 視察旅行(国鉄信濃川発電所) 8.9 講演会と映画「米國の最近における土木工事について」種谷実 8.24~26 土質工学講習会および見学会 10.27~28 土, 粉体, 粒体に関する9学会連合講演会	1.30 土木委員会 5.4 法規委員会 4.10 土木学会事務所増築委員会 10.12 地対策委員会 10. 一 法面築堤崩壊防止研究委員会	2.5~6 アメリカ土木学会会長 Gall A. Hathaway氏訪日 6.4 会員赤木正雄, 岩沢忠恭(元会長), 岡田信次(元会長)が参議院議員に当選 12.12 日本学術会議会員に本会会員石原藤次郎, 稲浦廣藏, 黒田静夫, 中原寿一郎, 吉田徳次郎, 大坪喜久太郎

1951 (昭和26)	5.24 会長 大西 立一, 副会長 花次郎, 稲浦鹿藏 12. 末 会 員 数 10647名	11.12 秋のエキスカレーション(横浜水道鶴ヶ峰導水扱工事現場ほか) 一, 一 理事会 (この年11回開催) 一, 一 常議員会 (この年2回開催) 5.8 文化映画会 (CIEフィルム7篇) 5.26 通常総会 (大阪大学医学部講堂, 地方における初の総会) 5.26 第7回年次学術講演会 (大阪大学医学部講堂) 発表論文147編 6.29 第1回学生見聞学会 (東京港々内巡航, 勝勝橋開閉施設ほか) 8.23~24 夏期講習会「コンクリートとダム, 橋梁」 8.25 見学会 (小河内ダム建設工事ほか) 11.2~4 第1回応用工学連合講習会 (本会ほか7学会協会連合共催) 11.10~11 秋のエキスカレーション (群馬大橋, 東電箱島発電所ほか) 11.21 講演会「欧米見学, 板橋二郎」 11.30 土質工学講演会(日本土質基礎工学会主催) 一, 一 理事会 (この年13回開催) 一, 一 常議員会 (この年3回開催)	4. 福井地産産書調査報告書 6. 昭和24年土木学会コンクリート標準示方書, 昭和26年度版 6. 昭和24年土木学会コンクリート標準示方書解説, 昭和26年度版 8. コンクリートとダム (昭和26年夏期講習会パンフレット(Ⅰ)) 8. 橋梁 (昭和26年夏期講習会パンフレット(Ⅱ)) 10. 土木工学論文抄録, 第4集 12. 土木学会名簿	7.19 アメリカ工業教育使節特別講演会 10.4 John L. Savage 博士来訪 一, 一 会員池田徳治, 秋田県知事に就任	郎, 田淵壽郎, 伊藤令二が当選 一, 一 会員吉田徳次郎, 学士院会員に推挙
1952 (昭和27)	5.23 会長 稲浦 鹿藏, 副会長 福田武雄, 立花次郎 12. 末 会 員 数 11526名	5.24 通常総会 (早稲田大学法文系大学院講堂) 5.25 第8回年次学術講演会 (早稲田大学法文系大学院講堂) 発表論文112編 5.26~27 見学会および懇親会「年次学術講習会に続いて五十里ダム工事現場」 8.20~21 夏期講習会「建設機械化」 11.9~10 秋季エキスカレーション (新潟県営三面川ダム堰埧工事視察) 一, 一 理事会 (この年12回開催) 一, 一 常議員会 (この年2回開催)	1.11 土木工学ハンドブック編集委員会 1.11 製図規格委員会 2.8 海外連絡委員会 2.15 サベージ博士文獻管理委員会 6. 鉄筋コンクリート橋 (土木工学書) 8. 建設機械化 (昭和27年夏期講習会パンフレット) 12. 水理学研究の現況	6. 一 John L. Savage 博士文獻管理, 東京市政専門図書館内にサベージ博士記念文庫として設置 10.22 国際港湾会議出席者招待午餐会 10. 一 会員山崎匡輔, 成城学園園長に就任 11.12 会員安芸敏一, 昭和三十七年度毎日出版文化賞受賞 一 会長稲浦鹿藏, 建設火警に就任	

年次 (年)	会長 副会長 副会長 会員数	組織・運営	事業		表彰・海外交流 その他
			行事・集会	調査・研究	
		を改正 5.24 総会において丹治経三、草間偉の2名を名誉会員に推挙 6.15 会誌定価を1部100円に改正			
1953 (昭和28)	5.20 会長 平井 喜久松、副会長 菊池 明、福田武雄 12. 末 会員数 11868名	5.23 通常総会(東北大学工学部) 5.23 第9回年次学術講演会(東北大学工学部)発表論文143編 5.25~26 見学会(北上川、只見川の発電所現場) 8.26~28 夏季講習会「プレストレストコンクリートと構造力学」 8.28 見学会(ピーエスエスコンクリートKK鴨宮工場ほか) 9.8~10 第3回応用力学連合講演会 11.14~15 秋のエキスカーション(神奈川県下箱根早雲山の地すべり現場ほか) 一、一 理事会(この年12回開催) 一、一 常議員会(この年2回、臨時1回開催)	3.12 プレストレストコンクリート小委員会 4.14 会誌抄録委員会 7.13 橋梁構造委員会 12.14 鉄筋コンクリート鉄道構造物設計基準委員会(受託) 12.14 鋼鉄道橋設計示方書委員会 12.14 土木工学論文抄録委員会	3. 水工学の最近の進歩(土木学会水工学論文集) 4. 土木製図基準(1) 5. 水理学研究の現況報告書(資料No.2) 6. 水理学研究の現況 7. プレストレスト コンクリートと構造力学(昭和28年夏期講習会テキスト) 8. 下水道学、後編(土木工学叢書) 9. 最新土質工学(昭和25年夏期講習会テキスト)、訂正4版 10. 土木学会名簿	12.11 日本学術会議 会員に本会会員菊池明、中原寿一郎、矢野勝正、田淵寿郎が当選 一、一 前会長三浦義男、会員小沢久太郎、特別会員鹿島守之助が参議院議員に当選
1954 (昭和29)	5.29 会長 青木 楠男、副会長 藤井松太郎、菊池 明 12. 末 会員数 13377名	5.29 総会において辰馬謙藏、黒河内四郎、米元普一の3名の名譽会員推挙 5.29 通常総会(早稲田大学大隈講堂) 5.29~30 第10回年次学術講演会(早稲田大学大隈講堂)発表論文143編 5.31 見学会(東京電力須田員発電所工事ほか) 8.25~27 夏期講習会「新材料と新工法」 8.27 見学会(日本鋼管川崎製鉄所ほか) 9.1~3 第4回応用力学連合講演会 9.4 第1回橋梁・構造工学研究発表会(共催) 10.27~29 創立40周年記念式典 11.20~21 海岸工学研究会(講演16題、第2回以降海岸工学講演会) 11.25~26 第1回風のシンポジウム開催(共催) 一、一 理事会(この年11回、臨時1回開催) 一、一 常議員会(この年1回、臨時1回開催)	3. 一 創立40周年記念事業土木会館建設委員会 3. 一 創立40周年記念事業土木工事写真集委員会 6.14 創立40周年記念事業資金委員会 6.14 創立40周年記念行事委員会 6. 一 大正以降土木史編集委員会	3. 学術用語集—土木工学編 5. 応用力学(土木工学叢書) 8. 新材料と新工法(昭和29年夏期講習会パンフレット) 10. 創立40周年記念土木学会略史 10. 土木工事写真集—土木学会創立40周年記念 10. 土木学会ハンドブック(上、下巻) 12. わが国土木工学の趨勢(土木学会創立40周年記念号、土木学会誌第39巻第12号別刷)	
1955 (昭和30)	5.25 会長 菊池 明、副会長 種谷 実、藤井松太郎 12. 末 会員数	3.28 通常総会(福岡市電気ビルホール) 5.28~29 第11回年次学術講演会(福岡市電気ビルホール)発表論文183編 5.30~31 見学会(伊之浦橋ほか)	1.19 海難防止港湾施設委員会、 2.15 溶接鋼鉄道橋設計示方書委員会 2.15 海岸工学委員会 7.18 土木用語辞典編集委員会	6. 昭和30年土木学会プレストレストコンクリート設計施工指針 6. 土木工学論文抄録、第5集 8. 鋼鉄道橋設計示方書案解説、昭和30年	7.22 Housner, Hudson 両教授歓迎会 12.20 訪日中国科学視察団懇談会

<p>1956 (昭和31)</p>	<p>5.25 会長 平山 復二郎、副会長 米田正文、種谷実 12.31 会員数 13235名</p>	<p>3.28 会費を正会員1,000円、准会員700円、学生会員500円、特別会員1級10,000円、2級6,000円、3級4,000円に改正 7.31 土木会館建設工事着工(高野建設KK修載式)</p>	<p>7.19 講演会「ソ連、中国の土木事業について」矢野勝正 8.17~19 夏期講習会「鋼橋設計とPC指針」 8.20 見学会(小河内ダム工事ほか) 9.6 構造物の安定度に関する研究発表会(共催)、発表数16編 9.7~9 第5回応用力学連合講習会 9.8 講演会(講演77題) 10.17~18 風に関するシンポジウム(共催)講演13題 10.28 国際会議報告講演会(講演5題) 11.11~12 秋のエキスカレーション(五十里ダムほか) 11.21~22 第2回海岸工学講演会(講演19題) 一、一 理事会(この年12回開催) 一、一 常議員会(この年3回開催)</p>	<p>9.一 海岸工学用語集小委員会 10.一 編集企画委員会 10.18 コンクリート標準示方書改訂委員会 10.18 大阪駅地盤沈下対策委員会 11.16 耐震工学委員会 12.16 論文編集委員会</p>	<p>8. 鋼橋設計示方書とプレストレストコンクリート指針(昭和30年夏期講習会パンフレット) 8. 新材料と新工法 再版 9. 海岸工学 I 11. 海岸工学 II</p>
<p>1957 (昭和32)</p>	<p>5.28 会長 内海 清温、副会長 原武司、米田正文 12.末 会員数 13969名</p>	<p>3.5 土木会館落成 4.1 新事務所を東京都新宿区四谷1丁目に置く 4.1 会費を1級A5万円以上、1級B3万円以上、1級C1万円以上、2級6,000円(据置)、3級4,000円(据置)と改正</p>	<p>1.21 水利科学訪中代表団報告講演会(講演5題) 4.2 土木会館落成披露会 5.13 第2回水理研究会講演会(講演14題) 6.1 通常総会(北海道大学工学部) 6.1~2 第12回年次学術講演会(北海道大学工学部)発表論文195編 6.2~5 見学会(札幌市内コースほか) 8.28~29 夏期講習会「改訂水理公式集ほか」 8.30 見学会(東京川崎横浜各港ほか)</p>	<p>2.21 水理公式委員会 7.12 海岸保全施設小委員会 8.13 大阪付近地盤沈下対策委員会 12.18 海岸工学委員会波力小委員会</p>	<p>1. 鋼鉄道橋設計示方書解説 改訂2版 4. 海岸工学用語集 6. 道路工学(土木工学叢書) 8. 災害とその対策(昭和31年夏期講習会テキスト) 8. 無筋コンクリート標準示方書 11. 鋼橋設計示方書解説,改訂版 11. 昭和31年土木学会コンクリート標準示方書,昭和31年度版 12. 鋼橋(III)(土木工学叢書)</p>
<p>1957 (昭和32)</p>	<p>5.28 会長 内海 清温、副会長 原武司、米田正文 12.末 会員数 13969名</p>	<p>1.21 水利科学訪中代表団報告講演会(講演5題) 4.2 土木会館落成披露会 5.13 第2回水理研究会講演会(講演14題) 6.1 通常総会(北海道大学工学部) 6.1~2 第12回年次学術講演会(北海道大学工学部)発表論文195編 6.2~5 見学会(札幌市内コースほか) 8.28~29 夏期講習会「改訂水理公式集ほか」 8.30 見学会(東京川崎横浜各港ほか)</p>	<p>1.18 土木振興対策委員会 4.17 原子力委員会(32年7月18日名称を原子力土木技術委員会と改称) 4.17 土木設計管理委員会(土木振興対策委員会の下部組織として設置) 6.18 フライアッシュ小委員会 9.12 コンクリート標準示方書解説改訂小委員会 12.17 高張力鋼鉄道橋研究委員会 7.一 文献調査委員会</p>	<p>5. 最新土質工学,訂正6版 5. 海岸保全施設設計便覧(案) 8. 海外保全施設設計便覧,昭和32年版 8. 水理公式集,昭和32年改訂版 9. 機械化工(土木工学叢書) 11. プレストレストコンクリートの設計および施工(土木工学叢書)</p>	<p>12.3 日本水利科学訪中代表団歓迎午餐会 12.10 日本学術会議会員に本会会員千秋邦夫、米田正文が当選 一、一 会員内海清温、電願開発(株)総裁に就任</p>

年次 (年)	会長 副会長 会員数	組織・運営	事業		表彰・海外交流 その他
			行事・集会	調査・研究	
1958 (昭和33)	5.23 会長 米田 本 副会長 本 間 仁、篠原武司 12.末 会員数 14617名	4.17 土木学会会館至 使用料を決定 4. 会誌広告掲載料 を改正 5.28 補助買寄附金値 上に伴う規則改正	9.6 橋梁構造工学研究発表会(講演12題) 9.7~9 第7回応力連合講演会 9.10~12 第1回地震工学研究発表会(講演 24題) 10.15 海外建設事情講演会 10.25~26 秋のエキスカレーション(電源開発 田子倉ダム工事) 10.28~29 第1回材料試験連合講演会(共 催、講演78題) 11.11~12 風に関するシンポジウム(講演15 題) 11.25~26 第4回海岸工学講演会(講演22 題) 一、一 理事会(この年12回、随時1回開催)	1.21 土木会館用地委員会 7.24 定款改正特別委員会	5.7 国際落後学会 1958年大会日本代表と して本会推薦の会員成 種勝武選出
			5.22 第3回水理研究会講演会(講演19題) 5.24 通常総会(早稲田大学小野記念講堂) 1.24~25 第13回年次学術講演会(早稲田大 学19号館)発表論文195編 5.25~27 民学会(東海村原子力発電所ほか) 8.27~28 夏期講習会「新しい建設工法」 9.5 第5回橋梁構造研究発表会(講演14題) 9.6~8 第8回応用力学連合講演会 9.9~10 第2回地震工学研究発表会(講演21題) 10.10~11 秋のエキスカレーション(相模湖風 山橋工事ほか) 11.11~12 風に関するシンポジウム(講演13題) 11.21~22 第5回海岸工学講演会(講演25題) 一、一 理事会(この年12回開催) 一、一 常議員会(この年3回開催)	8. 新しい建設工法(昭和33年夏期講習会 テキスト) 9. 水理学研究の現況、昭和33年度、第7 集 7.14 土木設計および監理業務基準並に参考 資料 12. 昭和31年土木学会コンクリート標準示 方書解説、昭和33年度版	8. トンネルと掘削工法(昭和34年夏期講 習会テキスト) 11. 土木学会名簿
1959 (昭和34)	6.9 会長 中 田 高 副会長 本間 仁 12.31 会員数 14896名	3.31 准会員が全面的 に正会員に転格 6.13 総会において幹 木雅次、吉田徳次郎、 平山復二郎、黒田武定、 堀越清六、高西敬義の 6氏の名誉会員推挙 11.30 定款を一部改 正、専務理事制設置 11.30 常議員会、末 森猛雄を初代専務理事 に選出。 一、一 図書館貸出規定 を決定	6.12 第4回水理研究会講演会(講演20題) 6.13 通常総会(広島大学教育学部講堂) 6.13~14 第14回年次学術講演会(広島大学) 発表論文235編 8.27~29 夏期講演会「トンネルと掘削工法」 8.29~31 第9回応用力学連合講演会 9.14 橋梁構造工学研究発表会「プレストレ ス構造に関する研究」講演17題 9.17~18 第3回地震工学研究発表会(講演 27題) 10.23~24 秋のエキスカレーション(黒部川第 四水力発電所) 11.6~7 第6回海岸工学講演会(講演22題) 一、一 理事会(この年12回開催)	10.一 土木省規約制定委員会 9.18 構造物耐震設計研究委員会 8.25 土木会館委員会(のち土木会館用 地委員会と合併) 12.一 災害対策研究委員会 12.17 土木技術者視聴覚研究委員会	3.1 前会長三浦義男、 宮城県知事に当選 6.2 会員小沢久太郎、 米田正文、天竺良吉、 参議院議員に当選 10.一 前会長、学士 院会員 吉田徳次郎監 査員に本会会長の石原 藤次郎、福田武雄、吉 藤幸明が当選

1960 (昭和35)	5.27 会長 沼田政矩, 副会長 山 麓, 副会長 山 麓, 副会長 山 麓, 副会長 山 麓 12.28 会員数 15428名	3.24 外人会員の会費(外貨送金)をU. S. 5.00と決定 3.30 会費を正会員1,200円, 学生会員600円に改正 5.28 総会において池田嘉六, 高橋基也, 菊池英彦, 永田民也, 齊藤静修, 村山善一郎, 田井九一, 山田隆二の7. 一 会誌広告料を改正	一. 一 常議員会(この年3回開催) 2.11~13 第1回原子力研究総合発表会(共催)講演279題(うち土木関係8) 4.19 フライアイアシンのシンポジウム(講演9題) 5.27 第5回水理研究会講演会(講演18題) 5.28 通常総会(早稲田大学大隈会館) 5.28 第15回年次学術講演会(早稲田大学)発表論文221編 7.11~18 第2回世界地震工学会議 8.4~5 有志見学会(御母衣古工事) 8.25~27 夏期講習会「最近の道路問題と高速道路」 8.27 見学会(京葉道路, 土研千葉支所ほか) 9.1~3 第10回応用力学連合講演会 9.10 第4回材料試験連合講演会 10.7~8 第7回橋梁構造工学研究発表会(講演18題) 11.1~6 秋のエキスカベンション(東海道視察バス旅行, 道路工事その他) 11.4 風のシンポジウム(講演20題) 11.7~8 第4回地震工学研究発表会(講演3題) 11.10~11 第7回海岸工学講演会(講演34題) 一. 一 理事会(この年11回開催) 一. 一 常議員会(この年2回, 臨時1回開催)	5.18 プレストレストコンクリート設計施工指針改訂小委員会 5.18 八咫湯干拓船越水道計画施工研究委員会 11.22 PCグラウト専門委員会 12.21 出版企画委員会(昭和45年5月名称を出版委員会と改称)	7. Earthquake Resistant Design for Civil Engineering Structures, Earth Structures and Foundations in Japan, 1960 7. 鋼鉄道橋設計示方書解説, 改訂3版 8. 最近の道路問題と高速道路(昭和35年夏期講習会テキスト) 12. 関門トンネル工事誌	一. 一 会員藤田亀太郎, レジオントヌール勲章受賞 一. 一 John L. Savage博士記念文庫を当学会で管理 5.10 会員坪喜久太郎, 至福工業大学学長に就任
1961 (昭和36)	5.23 会長 永田三郎, 副会長 龍山 義 12. 末 会員数 15116名	4.15 学会誌定価を200円に改正 5.27 総会において内田泰郎, 花井又太郎, 内海清温, 原口忠次郎, 近藤博夫, 藤井真澄, 田浦寿郎, 山崎匡輔, 糸原俊一の9氏の名譽会員推挙 7.31 土木教育に関する建議書を文部大臣に提出 10.25 吉田徳次郎博士記念事業から申出の「吉田貴および吉田研究奨励賞」設置	2.15~18 第2回原子力研究総合発表会 5.26 第6回水理研究講演会(講演16題) 5.27 通常総会(名古屋工業大学講堂) 5.27~28 第16回年次学術講演会(名古屋工業大学)発表論文172編 5.28 コンクリート懇談会(名古屋工業大学) 8.23~25 夏期講習会「改訂プレストレストコンクリート設計施工指針ほか」 8.30~9.1 第11回応用力学連合講演会 9.7~8 第5回材料試験連合講演会 9.14~15 第8回海岸工学講演会(講演35題) 10.16~17 第5回地震工学研究発表会(講演22題) 10.18 第8回橋梁構造工学研究発表会 10.20 講習会(共催)「プレストレストコンクリート改訂設計施工指針を主として」(講演7題) 10.21 関東地区学生のため映画会(37.3.ま	1.16 東京湾沿岸地域における貨物流動調査委員会 5.22 異形鉄筋設計研究小委員会 9.27 創立50周年記念事業委員会 10.3 プレストレストコンクリート鉄道橋設計施工基準研究小委員会 10.23 吉田貴選考委員会 11.11 高橋土木教育研究会(昭和38年6月委員会に昇格改称) 10. 一 合成桁鉄道橋示方書委員会	1. 土木工学論文抄録, 第6集 4. 文献分類項目および記入文獻一覧表 6. トンネルと掘削工法 8. 最近におけるプレストレストコンクリート設計施工指針の改訂とPC橋の現況(昭和36年夏期講習会テキスト) 8. 土木学会プレストレストコンクリート設計施工指針, 昭和36年度改訂版 9. 吉田徳次郎博士論文集 11. 土木学会名簿	4.14 ギョン氏来口, 各地で講演会 5.7 メナール博士(フランス国立工科大学教授)来日講演 11.15 Arthur T. Ip教授懇談会歓迎パーティー 4.29 会員杉戸清, 名古屋市長に当選 一. 一 特別会員アジア航空測量(株)第13回毎日文化工業技術賞を受賞

<p>5.11 会長 福田 大 副会長 大 石 勇, 山内一郎, 好井宏海 11. 末 会 員 数 19336名</p>	<p>4.30 関東支部設立 (支部長 富山道三) 4. 一 土木学会・日 本建築学会関係コンク リート用語統一 5.29 総会において稲 浦鹿蔵, 小川敬次郎, 岡部三郎, 坂上丈三郎, 敷島茂, 高橋善一郎, 武居高四郎, 沼田政矩, 星野茂樹, 三浦義男, 鷲尾龍竜の11氏の名譽 会員推挙 8.8 定款を一部改正, 土木図書館関係事項追 加 8.28 旧交会より募具 70万円の寄附金(真田 秀吉, 青山土, 谷口三 郎記念基金) 11.24 土木図書館落 成式,</p>	<p>8.24 見学会 (運輸省港湾技術研究所, 城ヶ 島大橋ほか) 10.17 第1回土木工学系学生のための映画 講演会 10.21 第8回水理講演会(講演15題) 10.21~22 第6回地震工学研究発表会(講演 19題) 10.22~23 第10回海岸工学講演会(講演32題) 10.25 構造用軽量骨材に関するシンポジウ ム(講演17題) 11.7~8 秋のエキスカカーション(日本原子 力発電所東海研究所ほか) 11.15 工事管理講習会(講習4題) 11.21~22 第2回岩盤力学に関するシンポ ジウム(講演13題) 一, 一 理事会(この年2回開催) 一, 一 常議員会(この年2回開催)</p>	<p>8. 一 土木工学ハンドブック改訂委員 会 8.26 土木用語委員会</p>	<p>3. コンクリート構造急速施工委員会報告 書→プレキャスト方式コンクリート工事につ いて研究差 3. 最近の基礎工法 6. コンクリートライブラリー第7号・コ ンクリートの水密性の研究 7. コンクリートライブラリー第8号・鉱 物質微粉末がコンクリートのウォーカービチ 一および強度におよぼす効果に関する基礎研 究 7. コンクリートライブラリー第9号・添 えばりを用いるアンダーペンニング工法の研究 8. 水理公式集, 昭和38年増補改訂版 8. 土質実験指導書 10. 若戸橋調査報告書 11. 土木学会名簿</p>	<p>2.28 若戸橋工事報告書 2. 土木材料実験指導書 3. 昭和39年土木学会トンネル標準示方書 3. 土木製図基準(1), 昭和39年改訂版 3. 土木工学ハンドブック, 改訂版(上, 下巻) 5. コンクリートライブラリー第10号・構 造用軽量骨材シンポジウム 6. 土木学会誌・論文集総索引 6. 土建造成(土木工学叢書) 8. トンネルと掘削工法 8. 昭和39年土木学会トンネル標準示方書 8. 昭和39年土木学会トンネル標準示方書 解説 10. 日本の土木技術—100年の発展のあゆみ 10. コンクリートの品質管理 11. 創立50周年記念土木学会略史 11. 土木技術者の活躍と大学土木教育—昭 和39年度中間報告 11. 日本の土木—建設/創造/技術(写真 集) 12. Earthquake Resistant Design for Civil Engineering Structures Earth Stru ctures and Foundations in Japan, 1964 12. 最近の基礎工法 12. コンクリートライブラリー第11号・微 細な空げきてん充のためのセメント注入にお ける強和材料に関する研究</p>
<p>5.29 通常総会(仙台市七十七銀行) 5.30~31 第19回年次学術講演会(東北大学) 発表論文393編 6.19 附属土木図書館竣工式 7.20~25.27~8.1 第1回水工学に関する夏 期研修会(講演8題) 8.27~28 夏期講習会(第2回トンネル工学 に関するシンポジウムとして) 10.5~6 第7回地震工学発表会(講演 19題) 10.6 東海道新幹線と土木技術講演会(講演 7題ほか映画) 11.5 創立50周年記念祝賀ゴルフ会 11.6 創立50周年記念事業報告会 11.6 創立50周年記念祝賀会 11.7 創立50周年記念講演会, 会長講演「構 造工学進展のあゆみ」福田武雄, 特別講演「わ が国の高速道路路について」尾之内由紀夫, 特 別講演「東海道新幹線について」藤井松太郎 11.8~10 創立50周年記念見学会(東京オリ ンピック関連諸施設の見学ほか) 11.8~12.11 創立50周年記念巡回映画会 11.11~12 岩の力学国内シンポジウム 1964(講演15題) 11.25 大学土木教育に関するシンポジウム (講演2題) 11.25~26 第11回海岸工学講演会(講演42題) 12.5 第1回衛生工学研究討論会(講演8題) 12.9 アルミセメント談話会(講演6題) 12.10 土木系学生の講演会「わが国土の海</p>	<p>2.28 土木図書館運営委員会 4.18 河北岡子拓河口工事研究委員会 5. 一 ずい道土庄と覆工の所要巻厚に 関する研究小委員会 5. 一 トンネルの鋼製支保工と覆工に 関する研究小委員会 6. 一 水文学小委員会 7.24 土木振動学便覧編集小委員会 7.24 新潟震災調査委員会 7. 一 プレストコンクリート小委員会 10. 一 40年にPC工法小委員会と改称 関する研究小委員会 12. 一 構造用軽量骨材に関する研究小 委員会</p>	<p>2.28 Sorevitz 氏を囲 む会 8.31 Talobre 氏を囲 む茶話会 10.5, 6, 8 創立50周年 記念国土開発映画コン クェで最優秀作品1, 優 秀作品2, 入選作品3 を決定 12.21 特別会員尼崎 製鉄(株)が「高強度 異形鉄筋の開発と企業 化」で第16回毎日工業 技術賞受賞 一, 一 会員武藤清, 耐震構造に関する研究 で学士院恩賜賞 一, 一 本会副会長岡 本舜三, 東京大学生産 技術研究所長に就任 一, 一 国鉄新幹線を 開発した技術グループ (代表島秀雄)昭和39年 朝日賞(文化賞)受賞</p>	<p>2.28 Sorevitz 氏を囲 む会 8.31 Talobre 氏を囲 む茶話会 10.5, 6, 8 創立50周年 記念国土開発映画コン クェで最優秀作品1, 優 秀作品2, 入選作品3 を決定 12.21 特別会員尼崎 製鉄(株)が「高強度 異形鉄筋の開発と企業 化」で第16回毎日工業 技術賞受賞 一, 一 会員武藤清, 耐震構造に関する研究 で学士院恩賜賞 一, 一 本会副会長岡 本舜三, 東京大学生産 技術研究所長に就任 一, 一 国鉄新幹線を 開発した技術グループ (代表島秀雄)昭和39年 朝日賞(文化賞)受賞</p>	<p>2.28 Sorevitz 氏を囲 む会 8.31 Talobre 氏を囲 む茶話会 10.5, 6, 8 創立50周年 記念国土開発映画コン クェで最優秀作品1, 優 秀作品2, 入選作品3 を決定 12.21 特別会員尼崎 製鉄(株)が「高強度 異形鉄筋の開発と企業 化」で第16回毎日工業 技術賞受賞 一, 一 会員武藤清, 耐震構造に関する研究 で学士院恩賜賞 一, 一 本会副会長岡 本舜三, 東京大学生産 技術研究所長に就任 一, 一 国鉄新幹線を 開発した技術グループ (代表島秀雄)昭和39年 朝日賞(文化賞)受賞</p>	

年次 (年)	会長 副会長 会員数	組織・運営	行事・集会	事業 調査・研究	出版	表彰・海外交流 その他
1965 (昭和40)	5.7 会長 岡部 水三郎、副会長 野高明、大石 山内一郎 12. 末 会員数 22073名	1.21 土木学会役員候補者選考内規を決定 2. 一 土木図書館閲覧業務を開始、会員は無料 3.15 会誌定価を250円に改正 5.28 総会において Arthur Ippen, Leopold Escande, 岡田信 菊池明、久保田豊、近藤泰夫、永田年、野田誠三の8氏の名譽会員推挙 8.16 定款を一部改正し、副会長を4名とする 12.18 会費を正会員2,400円、学生会員1,200円、特別特級15万円以上、特別1級A10万円、特別1級B6万円、特別1級C3万円、特別1級D15,000円、特別2級7,000円に改正	外進出の現状と将来性について」橋本敏男理事会(この年12回開催) 一、二 常議員会(この年2回、臨時2回開催) 2.12~13 第9回水理講演会(講演15題) 4.23 第2回異形鉄筋に関するシンポジウム(講演19題) 5.28 通常総会(福岡市明治生命ホール) 5.29~30 第20回年次学術講演会(福岡市市民会館および九州大学工学部)発表論文452編 8.2~7,9~14 第2回土工学会に関する夏期研修会(講演20題) 8.26~27 夏期講習会「構造力学における最近の諸問題」 9.29~30 秋のエキスカベンション(中央道工事、小仏トンネル工事ほか) 10.6 国際水理学会出席者帰朝報告会 10.18~19 耐震設計講習会(講演10題) 10.20~21 第8回地震工学研究発表会(講演28題) 11.7 第2回衛生工学研究討論会(講演11題) 11.15~16 第3回岩盤力学に関するシンポジウム(講演14題) 11.18~19 第12回海岸工学講演会(講演39題) 一、一 理事会(この年12回開催) 一、一 評議員会(この年2回、臨時3回開催)	4.23 土木工学叢書委員会(第2次) 4.23 わかり易い土木講座編集委員会 4.23 表彰制度審議委員会 7.25 軟弱地盤設計研究委員会 7. 一 異形鉄筋コンクリート構造物の設計例集改訂小委員会 8.27 表彰委員会 9.24 トンネル用鋼アーク支保工の強度に関する研究委員会 9.24 論文費選考委員会 10.22 中干平拓事業水理研究専門委員会 10. 一 書評小委員会 11. 一 相模川河口調査委員会 11.25 シールド工法小委員会 11.25 太径鉄筋研究小委員会 1. 一 日本土木史編集委員会	1. コンクリートライブラリー第12号・コンクリート舗装の構造設計に関する実験的研究 2. 爆破 3. コンクリートライブラリー第13号・プレキャストコンクリート施工例集 3. 工事報告大島セミナー「チタム」 5. 本州四国連絡橋技術調査第一次報告書、付属資料「耐風設計指針(1964)」解説 5. 本州四国連絡橋技術調査第一次報告書、付属資料「鋼材調査」 7. コンクリート標準示方書土木学会基準、改訂版 8. 構造工学における最近の諸問題(昭和40年度夏期講習会テキスト) 8. 工事報告川俣アーチダム 8. 工事報告「鉄・杉安アーチダム」 9. 土木技術者の活躍と大学土木教育 9. 地震工学講座 10. コンクリートの品質管理 10. 土木構造物の耐震設計指針(案) 11. 土木学会名簿 12. 日本土木史一大正元年~昭和15年一年度第11回大河内賞記念生産受賞 一、一 会員木下良作、朝日学術奨励金を受く	3.26 Arthur T. Ippen教授講演会 4.20 T. Y. Liu教授講演会 3.8 会員丸安隆和(代表)、第5回東洋レーヨン科学振興会より研究助成を受く 4.29 会員へ春の祝意、岩沢忠恭 田淵寿郎、宮内義則 内海清温 橋本敏之 西原信三 久保田豊 岡部三郎 久保田豊 岡部三郎 渡辺武三郎 岡部三郎 金子源一郎 青木 楠男 野口誠三 生野 団六 森豊吉 9.1 会員大野正夫、アラブ共和国大使官一等書記官に就任 一、一 特別会員株父セメント(株)、昭和39年度第11回大河内賞記念生産受賞 一、一 会員木下良作、朝日学術奨励金を受く
1966 (昭和41)	5.9 会長 篠原 式司、副会長 井忠明、畑谷正実、最上武雄、水野高明 12. 末 会員数 23527名	2.25 土木図書館利用規定を改正 3.30 本州四国連絡橋技術調査委員会、本四連絡橋は技術的に実現可能と建設省・日本鉄道建設公団に中間報告書を提出 5.9 田中豊士記念事業会から申出の「田中貫」設置 5.27 総会において大島太郎、田中吉郎、成瀬勝武の3氏の名譽会	2.18~19 第10回水理講習会(講演22題) 5.27 通常総会(札幌市日本生命ホール) 5.28~29 第21回年次学術講演会(北海道大学)発表論文606編 6.18 在日研修員のための「第1回土木学会のつとめ」12カ国17名が参加 6.28 長径吊吊橋の耐風設計に関する講習会(講演8編) 8.1~6,8~13 第3回土工学会に関する夏期研修会(講演20題) 8.25~26 夏期講習会「土工学会における振動と耐震の諸問題」 9.5~8 第1回土木学会・ASCE・IAHR、第10回海岸工学国際会議を東京都で開催	1.28 土木製図基準改訂委員会 3.25 土木年鑑編集委員会 5.9 田中賞選考委員会 8.26 土木計画法研究会 8.26 土木技術者研修計画委員会 10. 一 火力発電所の排水に関する研究小委員会	4. 土質実験指導書、改訂版 4. 工事報告黒部川第四発電所 5. 人口軽量骨材コンクリート設計施工指針(案) 6. 土木材料実験指導書 6. Proc. of the Inter. Atomic Energy Agency Panel Discussion Meeting on Asseismic Design and Testing of Nuclear Facilities, June 12-17, 1966 6. 昭和39年新潟地震害調査報告書 7. コンクリートライブラリー第15号・チビダーク工法設計施工指針(案) 8. 土木技術者のための振動現象 10. プレキャストコンクリート施工指針	4.29 会員へ春の祝意、近藤泰夫 鷹部忠福平 横河時介 久保謙 尾長吉 鷲尾龍西 吉高四郎 黒田武定 阿倍一郎 高橋三郎 水谷均起 11.3 会員へ秋の祝意、安部曜三郎 泉谷平次 郎 広田孝一 成瀬勝武 稲浦茂樹 小池啓吉 星野茂樹 沼田政吉、花井新三 11.12 会員青木楠男、

年次 (年)	会長 副会長 会員数	組織・運営	事業		表彰・海外交流 その他	
			行事・集会	調査・研究		
1968 (昭和43)	4.24 会長 石原 長 副会長 尾之内由紀夫、国 分正胤、仁杉 藏、 松見三郎 12. 末 会 員 数 27050名	5.28 総会において大 塚政治郎、徳善義光、 下間仲都の3氏の名譽 会員推挙	2.9 第12回水理講演会(講演23題) 5.28 通常総会(私学会館) 6.14 第2回大土木教育に関するシンポジ ウム(講演8題、パネル討論1題) 6.17~18 第4回トンネルに関するシンポジ ウム(講演15題) 7.16 応答を考慮した長大橋の耐震設計に関 する講習会(講演9題) 7.31~8.3、5~8.8 第5回水工学に関する夏 期研修会(講演15題) 8.2~4 第2回高校土木科教職員を対象と する夏期講習会 8.5~7 構造実験に関する講習会 8.8~9 夏期講習会「建設技術者のための測 定法」 8.26~27 第1回土木計画学講習会(大阪会 場、講演6題) 8.29~30 第1回土木計画学講習会(東京会 場、講演6題) 10.11~15 第23回年次学術講演会(名古屋大 学)発表論文778編 10.20 第3回国土開発映画コンクール入賞 作品発表会 11.14~15 秋のエキスカンション(新宿副都 心、朝霞浄水場、秋ヶ瀬取水堰ほか) 11.21~22 第2回土木計画学シンポジウム	1.24 トンネル工学委員会トンネル会議 実行委員会 2.23 耐風設計研究小委員会 2.23 土木用語辞典小委員会 5. 一 海岸保全施設設計便覧改訂小委 員会 6. 一 図書館運営小委員会 6.28 現職教育委員会 8.23 アルミナセメント小委員会 8.23 地震応答を考慮した橋梁下部構造 の耐震設計の研究委員会 9.27 終局強度設計小委員会 10. 一 コンクリート用語小委員会 12.19 沈埋トンネル小委員会	7. 本州四国連絡技術調査報告書、付属 資料7―道鉄道併用論に関する調査資料 8. 昭和42年夏期講習会資料 9. 昭和39年土木学会制定 トンネル標準 示方書解説 9. 鋼橋(III)土木工学叢書、改訂版 11. 土木年鑑―1968 11. 土木学会名簿 11. 日本学術会議相模川シンポジウム前刷 集(共催) 一、 さい道の適正覆工時期の研究報告書 一、 空港舗装研究委員会報告―新東京国際空 港の舗装に関する調査―第1編アスファルト 舗装に関する調査研究 一、 空港舗装研究委員会報告―新東京国際 空港の舗装に関する研究―第2編コンクリー ト舗装にかんする調査研究	1.13 トンネル工学委 員会による欧州トンネ ル視察団派遣 9.10 海外連絡委員会 による外国人実習生見 学 11.3 会員鈴木雅次、 文化勲章を受賞 11.3 会員へ秋の叙勲、 比企元 後藤憲一 神 村孝太郎 平川保一 西松三好 鈴木角一郎 11.30 日本学術会議 会員に本委員会員石原謙 次郎、平井敦、板倉忠 三が当選

1969 (昭和44)	4.24 会長 柳沢米吉、副会長 米谷栄二、長浜正雄、尾之内由紀夫、国分正胤 12. 末 会 員 数 29358名	1. 一 土木学会論文集の名称を土木学会文報告集と変更 4.24 故桑原弥寿雄氏遺族原弥弥介氏より金50万円の寄附金(故桑原弥寿雄博士記念図書購入費) 5.30 総会においてJames, W. Daily, Anton Grzywienski, 佐々木純, 堀越夫, 末森猛雄, 水谷当起, 西松三好, 藤井松太郎の8氏の名譽会員推挙 9.26 論文の部門別分類を従来の4部門制から5部門制に改正	(講演11題) 2.5~6 第15回海岸工学講演会(講演57題) 一 一 理事会(この年12回開催) 一 一 評議員会(この年2回開催)	1. 一 企画委員会 6. 一 すい道の合理的設計に関する研究小委員会 6.24 海洋墾発委員会 7. 一 電算機の利用に関する懇談会 7. 一 JIS規格小委員会 7.25 琵琶湖の将来水質に関する調査小委員会 7.25 土構造物の設計標準に関する研究委員会 9.26 プレキャストコンクリート杭に関する研究小委員会 9.26 海外活動委員会 10. 一 欧文年報編集小委員会 10.22 財政特別委員会	オハ工法設計施工指針(案) 一 本州四国連絡橋技術調査委員会資料集 一 本州四国連絡橋技術調査委員会資料集、議事録集、索引 一 すすい道工の合理的設計施工の基礎的研究報告書 1. 日本学術会議「不等質の流れのシンポジウム前集」(共催) 1. 数学(わかり易い土木講座) 3. 大学土木教育の方向を探る—その現状と問題点 3. 土木材料実験指導書、昭和44年版 11.21 スウェーデン技術使節団来日講演 4.25 会員福田武雄、日本工学会会長に就任 4.29 会員へ春の祝辞、岡田信次 野坂相如 杉本金吉 11.3 会員へ秋の祝辞、田中吉郎 那須信治 西島正雄 稲葉通彦 井岡正雄 花房利一	8.27 Hunner Rouse 教授特別講演会 10.28 ASCE 名誉会員Cecil A. Hathaway 博士, Arthur J. Fox, Jr.氏と本会来会 11.21 スウェーデン技術使節団来日講演 4.25 会員福田武雄、日本工学会会長に就任 4.29 会員へ春の祝辞、岡田信次 野坂相如 杉本金吉 11.3 会員へ秋の祝辞、田中吉郎 那須信治 西島正雄 稲葉通彦 井岡正雄 花房利一
1970 (昭和45)	4.24 会長 大石重成、副会長 河上房義、斉藤義治、米谷栄二、長浜正雄 12. 末 会 員 数 31562名	1.23 論文報告集購読料を2000円に改正 5.29 総会において井岡正雄、田中茂美、石上二郎、富山道三、浦上衛門、松本金吾、3池田謙一、米田正文の8氏の名譽会員推挙 6.19 故鈴木公雄氏遺	1.30~31 第6回衛生工学研究討論会(講演16題) 2.5~6 第6回岩盤力学に関するシンポジウム(講演18題) 2.7 第4回土木計画学シンポジウム(講演3題) 2.13 第14回水理講演会(国際会議報告1題、講演15題) 3.26~27 土質試験法に関する講習会(講演	3.20 パイプライン懇談会 4.24 プレストレストコンクリート杭設計施工指針小委員会 4.24 重岡トネル土研研究委員会 4.25 投筒の手引き小委員会 5.15 膨張性セメント混和材を用いたコンクリートに関する研究小委員会 6. 一 会誌・論文集編集委員会連絡会 6. 一 欧文論文集編集小委員会	土木年鑑—1970 構造実験指導書 土木製図基準、昭和45年版 土質実験指導書、昭和45年改訂版 測量実習指導書 東名高速道路建設 下水汚泥の処理・処分および利用に関する研究報告書(昭和44年度) 土木図書蔵書目録、第4集 トンネル標準示方書解説、昭和44年改訂版 シールド工法指針、昭和44年制定 土木学会名簿 コンクリートおよび鉄筋コンクリート鉄道構造物設計標準に関する研究、昭和43年度(最終案)	6.4 E. タンゼン教授講演会 3.22 会員篠原武司、日本鉄道建設公団総裁に就任 6.1 会員熊本政晴、北海道東北開発公社総裁に就任 10.14 会員森島宗太

年次 (年)	会長 副会長 会員数	組織・運営	行事・集会	事業 調査・研究	出版	表彰・海外交流 その他
1971 (昭和46)	4.23 会長 高野 務, 副会長 石川 豊, 奥村敏恵, 篠原謙爾, 河上房義 12. 末 会員数 33369名	旗より50万円の寄附金 4.21 会費を正会員 3,600円, 学生会員 1,800円に改正 5.15 会誌定価を350円に改正 5.28 総会において高野 務, 真井耕象, 松尾春雄, 柳沢米吉の4氏の名譽会員推挙 12.17 論文報告集購読料を3,000円に改正	5 題) 4.18 第1回海洋開発シンポジウム (講演5題) 5.8~9 第1回構造物の耐風性に関するシンポジウム 5.29 通常総会 (麹町会館) 7.24~25 第3回土木計画学講習会 (東京会場, 講演6題) 7.29~8.1, 3~6 第6回水工学に関する夏期研修会 (講演19題) 7.28~30 第4回高校土木科教職員を対象とする夏期講習会 7.31~8.1 第3回土木計画学講習会 (札幌会場, 講演6題) 7.29~8.5 第6回水工学に関する夏期研修会 (講演19題) 8.20~21 夏期講習会「土木工事の概算」 9.14~16 第6回トンネル工学に関するシンポジウム (国際シンポジウムとして開催) 9.17~19 第6回トンネル工学に関するシンポジウムに伴う見学会 (曹函トンネル工事ほか) 11.6~9 第23回年次学術講演会 (大阪日本生命ビル) 発表論文785編 11.26~28 第17回海洋工学講演会(講演65題) 11.12~13 秋のエキシカーション(東京電力福島原子力発電所ほか) 11.20 第4回国土開発シンポジウム 発表会 12.5 鋼鉄道橋設計示方書改訂に伴う講習会 (講演5題) 一、一 理事会 (この年12回開催) 一、一 評議員会 (この年2回開催)	6.19 石油類パイプライン研究委員会 7.24 原子力土木委員会 7.24 建設コンサルタント委員会 7.一 環境問題小委員会 9.25 国鉄貨物設備アスファルト舗装設計に関する研究委員会 8.一 総合開発懇談会 11.一 建設業に関する懇談会	震設計の研究報告書 (昭和44年度) 4. コンクリートライブラリー-第25号・高炉セメントライブラリー-の研究 5. コンクリートライブラリー-第26号・鉄道橋としての鉄筋コンクリート斜角げたの設計に関する研究 張力異形鉄筋の使用に関する基礎研究 6. 明日の国土を築く-高校土木教育白書 8. 土木技術者の海外活動における諸問題-土木学会誌第55巻第8号抜別 8. 土木工事の概算 (昭和45年度夏期講習会テキスト) 9. 土木技術フイルムリスト-1970 10. 応用力学 (II) (わかり易い土木講座) 10. 爆破 (全訂新版) 11. 土木図書頒布日録, 第5集 11. 鋼鉄道橋設計標準解説, 昭和45年版 12. 鋼鉄道橋設計標準解説, 昭和45年改訂版 12. コンクリートライブラリー-第28号・コンクリートの品質管理に関する基礎研究 12. コンクリートライブラリー-第29号・フレッシュ-工法設計施工指針 (案) レ- 沈埋トンネル設計法に関する研究報告書 (昭和44年度)	1.22 ECOR日本委員 会参加を決定 8.18 Weber教授特別講演会 8.29~9.3 林泰造会長、国際水理学会会長に選出される、任期47年1月から2ヶ年 9.22 Louis Jourmen氏講演会 3.16 総理府公報の日本の国土と国民生活の
		1.一 創立60周年記念事業常任委員会 2.26 創立60周年記念事業委員会 3.5一 トンネル掘工における鋼製支保工の効果に関する研究小委員会 5.10 バイブライイン技術基準研究特別委員会 6.25 移動床流れの粗度と河床形状研究小委員会 6.25 土木技術者のための岩盤力学改訂小委員会 6.25 土木建造物の取替標準に関する研究委員会	1. 土木年鑑-1971 1. 水理 (わかり易い土木講座) 2. 岩盤力学文献目録, 第3回 2. 橋, 1969-1970 2. 施工 (わかり易い土木講座) 3. 下水汚泥の処理-処分および利用に関する研究報告書 (昭和45年度) 3. 地震応答を考慮した橋りょう下部構造の耐震設計の研究報告書 (昭和45年度) 3. 青函トンネル土工研究調査報告書 (昭和45年度) 4. 土木用語辞典 (監修)			

<p>1972 (昭和47)</p> <p>4.28 会長 岡本 舜三、副会長 坂 野重信、橋道英雄、石川豊、藤原藤彌 12. 末 会員数 26797名</p>	<p>1.19 特別会員会費を特級25万円以上、1級A15万円、1級B9万円、1級C5万円、1級D2万5千円、2級1万円に改正 4.15 会誌定価を450円に改正 4.28 会費滞納会員の整理を決定 5.18 沖繩県の所属支部を明確にするための規則の一部を改正</p>	<p>6.25 合成桁鉄道橋の設計標準に関する研究会 6.25 沈埋トンネル耐震設計研究委員会 6. 一 水資源問題懇談会 7.30 構造工学委員会 7.30 鋼構造委員会 7.30 土木会館建設懇談会 7.30 安全問題研究委員会 7.30 本州四国連絡橋鋼上構造研究小委員会 7.30 本州四国連絡橋耐震研究小委員会 7.30 本州四国連絡橋耐震研究小委員会 11.26 海洋構造物に関する調査研究委員会 12.17 行企企画委員会</p>	<p>1.25~26 第6回土木計画シンポジウム 1.28~29 第8回衛生工学研究討論会(講演18題) 2.9~10 水理公式集改訂に伴う講習会(東京会場、講演18題) 2.18~19 第16回水理講演会(講演25題) 2.21~22 水理公式集改訂に伴う講習会(京都会場、講演18題) 2.18~19 第18回水理講演会(講演25題) 2.24~25 第7回岩盤力学に関するシンポジウム(講演21題) 5.20 第3回海洋開発シンポジウム(講演7題) 5.29 通常総会(私学会館) 6.27 ダム基礎岩盤のグラウチング施工指針講習会(課題6題) 7.18~19 第12回地盤工学研究発表会(講演31題) 7.26~29.31~8.3 第8回土工学会に関する夏期研修会(講演22題) 8.2~4 高校土木科教職員を対象とした夏期講習会 8.24 膨張性セメント混和材を用いたコンクリ</p>	<p>4. 土木学会投稿の手引き(昭和46年) 7. 本州四国連絡鉄道吊橋技術調査委員会中間報告書軌道専門部会報告、橋梁専門部会報告 7. 本州四国連絡橋基礎調査実験報告書併用編 7. 沈埋トンネル要覧 7. 地盤工学文献目録、第1回 7. わが国における原子力発電所の立地状況 9. 土木学会文獻日録集、1969 9. 土木技術者のための法律講座(昭和46年夏期講習会テキスト) 9. 原子力発電所の耐震設計に関する研究(直接基礎、くい基礎およびケーソン基礎) 10. コンクリートライブラリー-第30号、フープコンクリート設計施工指針(案) 10. 鉄道(わかり易い土木講座) 10. 建設機械(土木工学叢書) 10. OECDトンネル会議の全貌と現場視察報告 11. 水理公式集、昭和46年改訂版 11. サンフェルナンランド地震(1971年2月9日)の震害について(土木学会論文報告集195号抜刷) 11. 土木学会名簿 12. 土木製図(わかり易い土木講座)</p>	<p>10.18 藤塚正宣会員、アメリカ土木学会のW. I. Huber賞を授与 4.29 会員へ春の風船、安芸皎一 野田誠三 浦上衛門 高山道三 橋川保次 松島清重 小野敏 11.3 会員へ秋の風船、岡部三郎 林猛雄 平井弥之助 渡部弥作 五十嵐真作 伊藤令二 大林勇治 赤羽善治 渡辺貫 羽田巖 山下寿郎 11.3 会員内田祥三、文化勲章を受賞 12.10 会員今井勇、宮崎茂一 衆議院議員に当選 一、一 日本学術会議会員に本学会員石原藤</p>	<p>未来設計で本会「21世紀研究会(代表鈴木雅次)」が総合賞を受賞 4.29 会員へ春の風船、戸原義重 司忠 藤波取 田淵寿郎 真井耕 象 伊藤健雄 末松栄 上山鉄之助 芥川輝進 加藤正晴 杉本培古 平尾勝 6.27 会員榎木又三、古賀四郎、山内一郎、参議院議員当選 11.3 会員へ秋の風船 本間嘉平 藤田定市 奥村太平 12. 一 会員石田武雄、青山学院大学学長に就任 一、一 会員伊藤三郎、川崎市長に就任</p>
--	--	--	---	--	---	--

年次 (年)	会長 副会長 会員数	組織・運営	行事・集会	事業 調査・研究	出版	表彰・海外交流 その他	
1973 (昭和48)	4.24 会長 飯田房太郎、 副会長 荒木謙一、 内田隆彦、坂野重 信、横道英雄 12. 末 会員数 27275名	5.16 定款を一部改正 (副会長の数に5名に 増加) 5.29 総会において伊 藤信、加藤半平、大石 勇、羽田敏、大石重成 の5氏の名誉会員推挙	リートに関するシンポジウム(講演24題) 8.30~31 夏期講習会「市街地土木工事の仮 設と安全対策」 9.4~5 第5回土木計画学講習会(東京会 場、講演6題) 9.11~12 第5回土木計画学講習会(大阪会 場、講演6題) 9.28 第1回土木製図の自動化に関するシン ポジウム(講演13題) 10.20~22 第27回年次学術講演会(九州大 学)発表論文1026編 11.13~14 第19回海洋工学講演会(講演73題) 11.15 波と構造に関するシンポジウム 11.15 大径PC杭設計施工指針講習会(講演 7題) 11.20 第5回土木学会映画コンクール作品 発表会 11.27~28 秋のエキスカベンション(松島北上 大堰、大船渡締切堰ほか) 一、一 評議員会(この年2回、臨時1回開催)	2. 一 日本の土木技術編集委員会 4. 一 海洋コンクリート建造物小委員 会 5.11 環境問題懇談会 一 土木学会功績賞受賞者「声の記 録」編集小委員会 7. 一 日本の土木地理編集委員会 7.27 大径鉄筋小委員会 8.24 橋梁マスコングリート小委員会 11.21 日本土木研究委員会 11. 一 海外工事契約・仕様編集小委員 会 11.21 定款調査特別委員会 2. 一 確立統計水文学研究小委員会	1.24~25 第7回土木計画学シンポジウム 1.29~30 第9回腐生工学研究討論会(講演 25題) 2.6~7 地震応答解析と実例講習会(講演15 題) 2.16~17 第17回水理講演会(講演19題) 2.21~22 第8回岩盤力学に関するシンポジ ウム(講演19題) 5.12 第4回海洋開発シンポジウム(講演8 題) 5.29 通常総会(農協ホール) 6.5~8 環境アセスメントセミナー(講演7 題) 7.25~28.30~8.2 第9回水工学に関する夏 期研修会(講演18題) 7.30~8.1 第7回高校土木科教職員を対象	4. 土木製図基準(昭和47年改訂版) 5. コンクリートライブラリー第31号・OS PA.L法設計施工指針(案) 5. コンクリートライブラリー第32号・OB C.I法設計施工指針(案) 5. コンクリートライブラリー第33号・VSL 工法設計施工指針(案) 6. ダム基礎岩盤アラウチングの施工指針、 昭和47年制定 6. 原子力発電所の耐震設計に関する検討 報告書 7. 地震工文学文献目録、第2回 8. コンクリートライブラリー第34号・鉄 筋コンクリートライブラリー終局強度理論の 参考 8. 基礎工事(II)(土木工学叢書) 8. 市街地土木工事の仮設と安全対策(昭 和47年度夏期講習会テキスト) 9. 概業工学(わかり易い土木講座) 10. 土木図書館蔵書目録、第6集 11. 河川(わかり易い土木講座) 11. コンクリート橋(土木工学叢書)、改訂 版 11. 運力大径プレストレスコンクリー ト杭設計施工指針案 12. コンクリートライブラリー第35号・ア ルミナセメントコンクリートに関するシンポ ジウム	1.23 自由民主党訪中 団の要請を受け中国清 華大学へ図書寄贈 9.3 IAHR会長に林春 造会員再選、49年1月 から2ヶ年 10.1~10 ヨーロッパ コンクリート委員会第 16回総会に会員3名出 席 一、一 会員藤田亀太 郎、レジオンドヌール 勲章受賞 2.26 会員丸山隆和、 栗林科学技術賞を受賞 4.29 会員に春の叙勲、

- とする夏期講習会
- 8.21～22 第6回土木計画学講習会（東京会場、講演6題）
 - 8.29～30 第6回土木計画学講習会（名古屋会場、講演6題）
 - 8.30～31 第6回土木計画学講習会（広島会場、講演6題）
 - 8.31～9.1 関東地震50周年記念地震工学シンポジウム（共催）
 - 9.6～7 夏期講習会「基礎と地盤」
 - 9.13 海洋鋼構造物設計指針（案）解説講習会（講演8題）
 - 10.1～3 第28回年次学術講演会（北海道大学）発表論文1029編
 - 10.18 ベトナム事情シンポジウム（講演2題）
 - 11.13～14 第20回橋梁構造工学研究発表会（講演31題）
 - 11.14～16 第20回海岸工学講演会（講演39題）
 - 11.15 フラジル事情シンポジウム（講演2題）
 - 11.29～30 第7回トンネル工学に関するシンポジウム（講演12題）
 - 12.3～4 第1回環境問題シンポジウム（講演12題）
 - 12.13 イラン事情シンポジウム（講演2題）
 - 一、一 理事会（この年12回開催）
 - 一、一 評議員会（この年2回開催）

- 風に関する調査研究報告書（昭和47年度）
- 3. 青函トンネル土工研究調査報告書（昭和47年度）
- 3. 土木建造物の取替標準に関する研究報告書—中間報告書—（昭和47年度）
- 3. 土構造物の設計標準に関する研究報告書（昭和47年度）
- 3. 本州四国連絡橋綱上部構造に関する調査研究報告書（昭和47年度）別冊2—吊橋主塔設計要領（案）
- 3. 本州四国連絡橋綱上部構造に関する調査研究報告書（昭和47年度）別冊4—綱上部構造用鋼板の所要性能
- 3. 本州四国連絡橋綱上部構造に関する調査研究報告書（昭和47年度）別冊5—塗装分科会中間報告書
- 3. 本州四国連絡橋綱上部構造に関する調査研究報告書（昭和47年度）別冊6—吊橋のねじり解析
- 3. 下水汚泥の処理・処分および利用に関する研究報告書（昭和47年度）
- 4. 橋（I）（わかり易い土木講座）
- 4. 日本土木史—昭和16年～昭和40年—
- 4. 土木技術者のための振動健康
- 5. 原子炉建家基礎の耐震設計に関する検討報告書 1
- 5. Earthquake Resistant Design for Civil Engineering Structures, Earth Structures and Foundations in Japan—1973
- 5. ガム基礎岩盤グラウチング施工実例集
- 7. 道路（わかり易い土木講座）
- 8. 基礎と地盤（昭和48年度夏期講習会テキスト）
- 8. 海洋鋼構造物設計指針（案）解説
- 9. 原子力発電所の耐震性に関する研究 II. あまり強固でない地盤上における原子炉建家の動的安定性に関する検討
- 9. 原子力発電所の耐震性に関する研究 III. あまり強固でない地盤上における原子炉建家および炉心機器の地震応答に関する検討
- 9. 原子力発電所の耐震性に関する研究 V. 原子力発電所の取放水設備の耐震設計に関する調査
- 11. 土木学会名簿
- 11. 原子力発電所の耐震性に関する研究 VI. あまり強固でない地盤上における原子炉建家の安定性および地震応答に関する総合考

佐々木大策 大石勇
 遠藤貞一 平井寛一郎
 大島義愛 佐賀卓馬
 測寅雄
 9.21 会員藤井松太郎、
 国鉄総裁に就任
 11.3 会員に秋の叙勲、
 柳沢米吉 黒田静夫
 杉戸清 浄法寺朝美
 広長良一 大野台助
 清水又一 堀越一三
 鹿島卯女、文化功労
 賞：鹿島守之助
 一、一 会員丸安隆和
 （代表）、昭和48年度毎
 日出版文化賞を受賞

年次 (年)	会長 副会長 会員数	組織・運営	行事・集会		事業		表彰・海外交流 その他
			調査・研究	出版			
1974 (昭和49)	4.26 会長 瀧山 高橋 義、副会長 丸安隆和、水越達雄、渡辺新三、荒木謙一 12. 末 会員数 28227名	5.13 会費を正会員 6,000円、学生会員 3,000円に改正 5.22 総会において伊藤令二、原吉精一、石原藤次郎、大林勇治、叶磯、今後三、杉戸清、種浦大三の8氏の名誉会員推挙 12.20 論文報告集購読料を国内5,000円に改正	1.24~25 第8回土木計画学シンポジウム 1.28~29 第10回衛生工学研究討論会(講演19題) 2.15~16 第18回水処理講演会(講演40題) 2.18~22 土木技術者のための下水道講習会(講演8題) 5.22 通常総会(私学会館) 6.15 第5回海洋開発シンポジウム(講演4題) 7.16~17 第13回地盤工学研究発表会(講演40題) 7.31~8.3.5~8 第10回水工学に関する夏期研修会(講演22題) 8.5~7 第8回高校土木科教職員を対象とする夏期講習会 8.29~30 第2回環境問題シンポジウム(講演9題) 9.3~4 第7回土木計画学講習会(東京会場、講演8題) 9.4~5 第7回土木計画学講習会(大阪会場、講演8題) 9.12~13 夏期講習会「コンクリート標準示方書の改訂」 10.5 創立60周年記念映画発表会、第6回映画コンクール入賞作品 10.6~20 第1回土木技術者のための海外研修旅行(イギリス、フランス、西ドイツ、オランダ) 10.8~10 第28回年次学術講演会(広島工業大学)発表論文1165編 11.14~16 第21回海岸工学講演会(講演83題) 12.3~4 第1回環境問題シンポジウム(講演12題) 12.4 期待される新交通システム講習会(講演3題)	6.28 鉄骨鉄筋コンクリート構造設計小委員会 8.23 コンクリート固形化小委員会 8.23 電算機利用委員会 10. 一 明石海峡大橋耐震設計小委員会 9.10 多摩川災害調査委員会 12. 一 水質管理に関する研究小委員会	察・問題点と今後の研究課題 11. シールド工事用標準セグメント一鋼製セグメントコンクリート系セグメント 12. 明治以前日本土木史、復刻版 12. 原子炉建家基礎の耐震設計に関する検討報告書2	3.22 日中友好視察団に会員羽田蔵の参加を決定 5.31 会員橋股役司、FIPメダルを受賞 6.13 会員江口辰五郎、レジオンドヌール勲章受賞 9.23~27 第6回国際セメント化学シンポジウム(モスクワ)に会員関分正胤、小林正丸、長瀬重義が出席 10.11 第1回海外研修旅行団(团长・森茂のうち5名がICE(英国土木学会)を公式訪問 4.1 会員異蔵、大阪産業大学学長に就任 4.29 委員へ春の叙勲、久保田豊 鈴木唯次 上ノ土東 清水雄吉 大内三郎 牧田甚一 三宅孝雄 7.7 会員江藤智、上田 登、坂野重信、望月邦夫が参議院議員当選 11.3 委員へ秋の叙勲、藤井松太郎 米田正秋 今後三 松井達夫 秋草 齋 木田尾広治 前岡 田一三 横山通夫 岡 取次 11.11 会員江藤智、運輸大臣に就任	

一、一 評議員会 (この年2回開催)

<p>1975 (昭和50)</p>	<p>5. 一 会長 之内由紀夫、副会 長 比田正、高 橋國一郎、丸安隆 和、水越達雄、渡 辺新三 12. 末 会員数 28496名</p>	<p>3.28 土木図書編規程 および利用規程を改正 4.15 会誌定価を650 円に改正 5.22 総会において飯田 房太郎、岡本舜三、稲 垣茂樹、高野蔭、岩本 常次、堀越一三、江口 馨、山本三郎の8氏の 名譽会員推挙</p>	<p>1.24~25 第9回土木計画学シンポジウム (講演7題) 1.27~28 第11回衛生工学研究討論会(講演 17題) 2.7~8 第19回水理講演会(講演33題) 2.19~20 第9回岩盤力学に関するシンポジ ウム(講演27題) 3.22 沿岸海洋開発の国際強力と交流の講演 会(講演6題) 5.22 通巻総会(私学会館) 5.26~6.8 第2回土木技術者のための海外 研修旅行(アメリカ西海岸の研究機関) 5.26~30 土木技術者のための数値解析法講 習会(講演14題) 7.29~30 土木技術者のための岩盤力学講習 会(講演12題)</p>	<p>7.25 汚泥処理からみた合理的浄水方法 に関する研究 一、一 橋の景観とその形態および色彩 に関する研究小委員会 一、一 高橋朝面義設計小委員会</p>	<p>2. 岩盤力学文獻目録、第5回 3. 本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・ 耐震に関する調査研究—明石海峡大橋の耐震 設計に関する調査研究報告書(昭和49年度) 3. 本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・ 耐震に関する調査研究報告書(昭和49年度) 3. 本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・ 耐震に関する調査研究報告書(昭和49年度) 3. 本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・ 耐震に関する調査研究報告書(昭和49年度) 3. 下水汚泥の処理・処分および利用に関 する研究報告書(昭和48・49年度) 3. 沿岸海洋開発の国際的動向と技術交流 講演論文 3. 土木材料実験指導書、昭和50年改訂版</p>	<p>11.30 日本学術会議 会員に本学会員奥村敏 恵、河上房義、米谷栄 二が当選 12.21 会費野田誠三、 野球殿堂入りし特別表 彰 一、一 会員岡本舜三、 埼玉大学学長に就任 一、一 会員山田伴次 郎、宇都宮大学学長に 就任 一、一 会員山本三郎、 水資源開発公団総裁に 就任</p>
<p>10.6 Dr. K. J. Ives 講演会</p>	<p>10.6 岩盤力学文獻目録、第5回 講演会 一、一 会員井上孝、 国際住宅・都市計画連 盟(IFHP)会長に就任 4.13 統一地方選挙で 北海道知事に堂垣内尚 弘(再選)、川崎市市長に 伊藤三郎(再選) 4.29 会員へ春の叙勲、 森田健造、上野者二 遠藤巖 柿徳一 奥村 太四郎 9.16 会員福田武雄、 千葉工業大学学長に就 任</p>	<p>張性セメント混和材を用いたコンクリートに 関するシンポジウム 10. 日本の土木地理—国土への理解と認識 のために 10. 海外建設工事の契約・仕様—エンジニ アリング関係の理解のために 10. 諸外国における公共工事請負契約制度 の概要 11. 土木工学ハンドブック(昭和59年版) 上巻・中巻・下巻・資料編 11. 土木図書館蔵書目録、第7集 11. 土木技術フィルムリスト—1974 11. 土木工学における数値解析、基礎編(サ イエンス・ライブラリー) 11. 土木工学における数値解析、計画手法 編(サイエンス・ライブラリー) 11. 土木工学における数値解析、変形応力 解析編(サイエンス・ライブラリー) 11. 土木工学における数値解析、流体解析 編(サイエンス・ライブラリー) 11. 国鉄建造物設計標準解説、1974年版 12. 構造力学公式集 12. Proceedings, U. S. —Japan Seminar on Engineering and Environmental Aspects of Waste Heat Disposal 一、一 本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・ 耐震に関する調査研究—本州四国連絡橋の耐 震に関する調査研究報告書(昭和48年度)</p>				

年次 (年)	会長 副会長 会員数	組織・運営	行事・集会	事業 調査・研究	出版	表彰・海外交流 その他
1976 (昭和51)	5. 会長 最上武雄, 副会長 石上立夫, 菊池三男, 高橋浩二, 松尾新一郎, 比田正 12. 末 会員数 28434名	4.15 会誌広告掲載料金を改正 5.19 会費を特別特級A50万円, 特級B42万円, 1級A25万円, 1級B15万円, 1級C8万円, 1級D4万円, 2級2万円 5.26 総会において Ray, K. Linsley, 上戸辰司, 上野省二, 末松朱, 藤村久四郎, 田中夏二, 前田一三, 龍山養の8氏の名誉会員推挙 9. 学会事務局, 毎週第一土曜日を休日とする	8.4~6 第9回高校土木科教職員を対象とする夏期講習会 8.20~23 第11回水工学に関する夏期研修会 8.22~23 第3回環境問題シンポジウム(講演19題) 8.28~29 夏期講習会「実務者のための工事管理」 9.8~9 第8回土木計画学講習会(講演8題) 9.12 第6回海洋開発シンポジウム(講演9題) 9.22~23 構造力学公式集発刊記念講習会(東京会場, 講演9題) 9.25~26 構造力学公式集発刊記念講習会(大阪会場, 講演9題) 10.5~17 第3回土木技術者のための海外研修旅行(ソビエト連邦語研究機関) 10.16~18 第30回年次学術講演会(名古屋工業大学)発表論文1253編 11.12~14 第22回海岸工学講演会(講演9題) 一. 一 理事会(この年11回開催) 一. 一 評議員会(この年1回開催)	5.14 定款調査委員会 一. 一 棟居小委員会 一. 一 乱流拡散研究小委員会	(高校課程基礎編) 3. 港大橋工事誌 3. 沈埋トンネル耐震設計指針(案) 4. 橋(II)(わかり易い土木講座) 6. コンクリートライブラリー第40号・太径鉄筋DS1を用いた鉄筋コンクリート構造物の設計指針(案) 7. 日本の土木技術—近代土木発展の流れ 7. 土木技術者のための岩盤力学, 昭和50年度改訂版 8. 測量(III)(わかり易い土木講座) 8. 実務者のための工事管理(昭和50年度夏期講習会テキスト) 9. 構造力学公式集発刊記念講習会テキスト 11. コンクリートライブラリー第41号・鉄筋コンクリート設計法の最近の動向 11. 土木学会名簿	10.14 会員木岡仁, ECOR日本委員会会長に就任 11.3 会員へ秋の祝電, 西畑正倫 堀盛夫 庄司光 藤芳義男 安藤 四良 藤垣茂樹 戸藤 武幸 青木益次 銭高 輝之 浅沼権之吉 11.7 会員丸安隆和, 紫髪俊賞受賞 一. 一 会員武藤清, 学士院会員に推挙
			1.26~27 第10回土木計画学シンポジウム(講演7題) 1.30~31 第12回衛生研究討論会(講演24題) 2.6~7 第20回水理講演会(講演31題) 2.13 講習会「海外建設工事成功への鍵をさぐる」(大阪会場, 講演5題) 2.25~26 第10回岩盤力学に関するシンポジウム(講演24題) 3.12 講習会「海外建設工事成功への鍵をさぐる」(東京会場, 講演5題) 3.14~20 第4回土木技術者のための海外旅行(東南アジア諸国の研究機関) 5.26 通常総会(私学会館) 6.4 海洋構造物の設計講習会(講演7題) 7.13~14 第14回地震工学研究発表会(講演54題) 7.16 講習会「鉄筋コンクリート設計法の最近の動向」(講演9題)	5.1 土木計画学の領域と構成(土木計画学シリーズII) 2. 水理公式集例題集 3. 斜張橋資料集 2. 海洋構造物に関する調査研究報告書(昭和50年度) 3. 青函トンネル土工研調査報告書(昭和50年度) 3. 電算機有効利用に関する調査研究報告書 3. 明石海峡大橋の耐震設計に関する調査研究報告書(昭和50年度) 3. 高橋脚橋梁の耐震設計に関する調査研究報告書(昭和50年度) 3. 本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・耐震に関する調査研究—本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究報告書(昭和50年度)	5.1 国立科学博物館に土木・建築コーナー誕生 7. 一 会員福岡正し, 国際土質基礎工学会(ISSMFE)会長に就任 9. 21 Bruno Thurnlimann 教授講演会 一. 一 会員尾之内由紀夫, 本州四国連絡橋公園総裁に就任 一. 一 会員員井清, 昭和51年度朝日賞受賞	

<p>11.26 会員名簿有償 制(1部3,000円)とな る</p>	<p>7.26~28, 28~31 第12回水工学に関する夏 期研修会(講演18題)</p> <p>8.3~5 第10回高校土木科教職員を対象と する夏期講習会</p> <p>8.30~31 第4回環境問題シンポジウム(講 演19題)</p> <p>9.1~2 夏期講習会「地下構造物の設計と施 工」</p> <p>9.18 第7回海洋開発シンポジウム(講演11 題)</p> <p>9.9~10 第9回土木計画学講習会(講演7 題)</p> <p>10.8~10 第31回年次学術講演会(東京工学 大学)発表論文1286題</p> <p>10.22 講習会「構造物の安全性・信頼性」(講 演9題)</p> <p>11.4~5 第1回電算機利用に関するシンポ ジウム(講演44題)</p> <p>11.5~18 第5回土木技術者のための海外研 修旅行(スイス、イタリヤ、フランスの各国 諸機関および研究所等)</p> <p>11.8~9 講習会「海外建設プロジェクトの 進め方と成功へのポイント」(大阪会場, 講演 6題)</p> <p>11.10~12 第22回海岸工学講演会(講演113 題)</p> <p>11.13 第7回土木学会映画コンクール入賞 作品発表会</p> <p>11.29~30 講習会「海外建設プロジェクトの 進め方と成功へのポイント」(東京会場, 講演 6題)</p> <p>11.30 シンポジウム「近代土木技術の黎明期 を探る(その1 古市公威)</p> <p>一、一 評議員会(この年2回開催)</p>	<p>7.26~28, 28~31, トラス橋点構設計指針 報告書一別冊3。(昭和50年度)</p> <p>3. 本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・ 耐震に関する調査研究一本州四国連絡橋鋼上 部構造に関する調査研究報告書一別冊4, 鋼 上部構造部材溶接継手の非破壊検査(昭和50 年度)</p> <p>4. 平板載荷による原位置岩盤の變形試験 法の基準</p> <p>5. 海上作業足場の設計要領</p> <p>6. 本州四国連絡橋公団塗装暫定仕様一塗 装作業, 検査暫定規程</p> <p>6. 本州四国連絡橋公団塗料暫定規格</p> <p>7. 土木製図規程, 昭和51年改</p> <p>7. 地震工文学文献目録, 第4回</p> <p>8. 地下構造物の設計と施工(昭和51年度 夏期講習会テキスト)</p> <p>9. プレストレストコンクリート原子研構 造物(圧力容器・格納容器)設計施工要領</p> <p>9. 建設プロジェクトの進め方</p> <p>10. 構造物の安全性, 信頼性</p> <p>10. わが国におけるトンネル掘進機の実績 と展望</p> <p>11. 創立60周年記念土木学会略史一1914~ 1975</p> <p>12. コンクリートライブラリー第42号・海 洋コンクリート構造物設計設計指針(案)</p>	<p>耐震に関する調査研究本州四国連絡橋技術一 本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究 報告書一別冊3, トラス橋点構設計指針 (案)(昭和50年度)</p> <p>3. 本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・ 耐震に関する調査研究一本州四国連絡橋鋼上 部構造に関する調査研究報告書一別冊4, 鋼 上部構造部材溶接継手の非破壊検査(昭和50 年度)</p> <p>4. 平板載荷による原位置岩盤の變形試験 法の基準</p> <p>5. 海上作業足場の設計要領</p> <p>6. 本州四国連絡橋公団塗装暫定仕様一塗 装作業, 検査暫定規程</p> <p>6. 本州四国連絡橋公団塗料暫定規格</p> <p>7. 土木製図規程, 昭和51年改</p> <p>7. 地震工文学文献目録, 第4回</p> <p>8. 地下構造物の設計と施工(昭和51年度 夏期講習会テキスト)</p> <p>9. プレストレストコンクリート原子研構 造物(圧力容器・格納容器)設計施工要領</p> <p>9. 建設プロジェクトの進め方</p> <p>10. 構造物の安全性, 信頼性</p> <p>10. わが国におけるトンネル掘進機の実績 と展望</p> <p>11. 創立60周年記念土木学会略史一1914~ 1975</p> <p>12. コンクリートライブラリー第42号・海 洋コンクリート構造物設計設計指針(案)</p>	<p>1. トンネル標準示方書(山岳編)・同解 説, 昭和52年版</p> <p>1. 開削トンネル指針, 昭和52年制定</p> <p>1. トンネル標準示方書(シールド編)同 解説, 昭和52年版</p> <p>1. 土木構造実験</p> <p>1. 昭和49年制定コンクリート標準示方書 解説(昭和52年版)</p> <p>3. 電算機有効利用に関する調査研究報告 書</p> <p>3. 土木図書施設書目録, 第8集</p> <p>3. 関門橋工事報告書</p> <p>3. 本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・ 耐震</p>
<p>5. 一 会長 越達雄, 副会長 井上孝, 後藤幸 正, 八十島義之助, 高橋浩二, 松尾新 一郎 会員数 28225名</p>	<p>5.25 総会において伊 藤剛, 西村敏男, 上野 井上孝, 後藤幸 正, 八十島義之助, 酒井忠明, 立花次郎の 9氏の名誉会員推挙</p>	<p>3.16 土構造物および基礎委員会 6.24 エネルギー土木委員会 9.24 新体系土木工学編集委員会 一、一 高炉スラグ小委員会 一、一 垂釣めっき鉄筋小委員会 一、一 固液二相流研究小委員会 一、一 Costal Engineering in Japan 査読小委員会 一、一 トンネル工学委員会研究開発抄 録小委員会 一、一 トンネル工学委員会NATM研究 小委員会 一、一 岩盤委員会岩盤分類小委員会</p>	<p>1.17~18 第8回トンネル工学に関するシン ポジウム(講演4題)</p> <p>1.27~28 第11回土木計画学シンポジウム(講演 29題)</p> <p>1.28~29 第13回衛生工学研究討論会(講演 29題)</p> <p>2.4~5 第21回水理講演会(講演37題)</p> <p>4.22~23 シンポジウム「近代土木技術の黎 黎明を探る(その2 田辺朝郎)」</p> <p>5.25 通橋総会(主船会館ホール)</p> <p>6.7~20 第6回土木技術者のための海外研 修旅行(東南アジア, 中近東諸国)</p> <p>7.18~20, 21~23 第13回水工学に関する夏 期研修会(講演18題)</p>	<p>5.10 レスリー・コバ スナイ博士特別講演会</p> <p>6.一 一 会員阿部英彦, 荒井自昭, 谷口紀人, 第4回環境優良賞受賞 9.10 日米コンクリー ト関係者懇親会 一、一 一 会員吉川泰, イギリス土木学会、(ICE) Overseas Premium 受賞 11.1 会員山田正男, 首都高速道路公団理事</p>

年次 (年)	会長 副会長 会員数	組織・運営	行事・集会	事業 調査・研究	出版	表彰・海外交流 その他
			<p>8.2~4 第11回高校土木科教職員を対象とする夏期講習会</p> <p>8.23~24 夏期講習会「最近の河川・砂防計画」</p> <p>8.27 マスコミ界との懇談会</p> <p>8.30~31 第5回環境問題シンポジウム(講演16題)</p> <p>9.1~2 第10回土木計画学講習会(講演8題)</p> <p>9.9 第8回海洋開発シンポジウム(講演11題)</p> <p>9.20 講習会「土木技術者のためのダムの地質調査」(講演5題)</p> <p>10.14~16 第32回年次学術講演会(神戸大学)発表論文1448題</p> <p>11.1~2 第2回電算機利用に関するシンポジウム(講演33題)</p> <p>11.15~16 シンポジウム「近代土木技術の開花期と沖野忠雄」(講演4題)</p> <p>11.15~17 第24回海岸工学講演会(講演132題)</p> <p>一、一 理事会(この年7回開催)</p>	<p>一、一 衛生工学委員会環境問題小委員会</p> <p>一、一 エネルギー土木委員会石油備蓄小委員会</p> <p>一、一 エネルギー土木委員会L、N、G地下タンク小委員会</p>	<p>耐震に関する調査研究一本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査報告書(昭和51年度)</p> <p>3. 本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・耐震に関する調査研究一本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査報告書一別冊2. 吊橋リンク支保構造設計の指針(昭和50年度)</p> <p>3. 本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・耐震に関する調査研究一本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査報告書一別冊1. 吊橋主塔の塔頂補強構造解析要領(案)(昭和51年度)</p> <p>3. 本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・耐震に関する調査研究一本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査報告書一別冊2. 道路鉄道併用斜張橋の検討(昭和51年度)</p> <p>3. 本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・耐震に関する調査研究一本州四国連絡橋の耐風実験橋に関する調査報告書(その1)(昭和51年度)</p> <p>3. 関門橋設計計算書</p> <p>3. 東京港トンネル工事誌</p> <p>3. 土木材料実験指導書(基礎編)昭和52年改訂版</p> <p>3. 土木材料実験指導書(基礎編・応用編)昭和52年改訂版</p> <p>6. 土木学会誌・論文報告集総索引1915-1975</p> <p>7. 青函トンネル土工研究調査報告書</p> <p>8. 最近の河川・砂防計画(昭和52年度夏期講習会テキスト)</p> <p>8. コンクリートライブラリー第43号・大径鉄筋D51を用いる鉄筋コンクリート構造物の設計指針</p> <p>9. ダムの地質調査</p> <p>11. 衛生工学実験指導書(プロセス編)</p> <p>11. 土木学会名簿</p> <p>一、一 水資源に関するシンポジウム前刷集一</p> <p>1977</p> <p>一、 Earthquake Resistant Design for Civil Engineering structures, Edrth</p>	<p>長に就任</p> <p>一、一 特別委員の礼</p> <p>幌布,川崎重工(株),</p> <p>(株)日立製作所,第29</p> <p>回毎日工業技術賞受賞</p>

1978 (昭和53)	5.30 会長 仁杉 敏, 副会長 井上 孝, 後藤幸正, 三村誠三, 八十島義之助, 吉村虎藏 12. 末 会員数 28152名	4.15 会誌定価を850円に改正	1.24~25 第12回土木計画学シンポジウム 1.28~29 第14回衛生工学研究討論会 (講演20題) 2.8~9 第22回水理講演会 (講演44題) 2.23~24 第11回岩盤力学に関するシンポジウム (講演25題) 5.16~25 講習会「高炉スラグ砕石コンクリート設計施工指針案」(東京ほか4会場で開催) 5.22~23 シンポジウム「北海道開拓のあゆみと土木技術—その源流—丘井勇」 5.30 通常総会 (私学会館) 6.9 講習会「鋼構造架設設計指針」(講演8題) 7.17~19, 20~22 第14回水工学に関する夏期研修会 (講演18題) 7.27~8.7 海外研修旅行特別コース「高校教職員のための海外研修旅行」(オランダ, イギリス, フランス, 西ドイツ) 8.21~23 第12回高校土木教職員を対象とする夏期講習会 8.20~9.2 第7回土木技術者のための海外研修旅行 (アメリカ東海岸) 8.28 第6回環境問題シンポジウム (講演17題) 8.31~9.1 第11回土木計画学講習会 (講演18題) 9.19~21 第33回年次学術講演会 (東北学院大学) 発表論文1532編 9.30 第9回海洋開発シンポジウム (講演6題) 11.9~10 第3回電算機利用に関するシンポジウム (講演31題) 11.16~18 第25回海岸工学講演会 (講演130題) 11.18 第8回土木学会映画コンクール入賞作品発表回 一. 一 理事会 (この年8回開催)	3.24 海上空港連絡調査委員会 一. 一 水理観測における規模の評価研究小委員会	structures and Foundations in Japan 1977 2. 岩盤力学文献目録, 第6回 3. 製図のかき方—線の引き方から透視図のかけるまで— 3. 土木計画学の成立と背景 (土木計画学シリーズ・1) 3. 電算機有効利用に関する調査研究報告書 3. 本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・耐震に関する調査研究—本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究報告書—別冊2, 吊橋のケーブルに関する検討 (昭和52年度) 3. 鋼製サイロに関する調査研究報告書 (昭和52年度) 5. 高炉スラグ砕石コンクリート設計施工指針 (案) 5. 鋼構造架設設計指針 6. コンクリート工学 (1) —施工, 新訂版 (わかり易い土木講座) 6. 衛生工学, 新訂版 (わかり易い土木講座) 11. 水資源に関するシンポジウム77	3.27 John, H, Nath博士講演会 4.4 イギリス土木学会国際マナー・ケット部長 Leon Morell来会 5.28~6.4 ASCE 訪日団第1班に関する諸行事を行う 6.10~17 ASCE 訪日団第2班に関する諸行事を行う 8.28 第7回海外研修旅行団 (団長八十島義之助) 37名がアメリカ土木学会を公式訪問 一. 一 会員篠塚正宣, A. M. Freudenthal メダル受賞 一. 一 会員石橋多聞, 国際水道協会 (IWSA) 会長に就任 今野正喜, 科学技術庁長官賞を受賞 一. 一 日本学術会議会員に本会員河上房義, 松尾新一郎, 八十島義之助, 岸力, 成岡昌夫, 伊藤富雄が当選 一. 一 会員高橋国一郎, 日本道路公団総裁に就任
1979 (昭和54)	5. 一 会長 國分正胤, 副会長 浅井新一郎, 岡部保, 能町純雄, 三	4. 一 学会事務局, 第3土曜日を休日化 (第1, 第3土曜休日) 5.29 総会において石	1.26 マクタイ橋梁技術委員会 7.24 水理委員会河川に関する国際交流小委員会 9.27 衛生工学委員会広域処分小委員会	1. コンクリート工学 (II) —設計, (わかり易い土木講座) 1. プレストレストコンクリート標準示方書, 昭和53年制定	4.11 中国土木工学会訪日友好代表団来会 5.21 M. S. Yalin 教授特別講演会	

年次 (年)	会長 副会長 会員数	組織・運営	行事・集会	事業 調査・研究	出版	表彰・海外交流 その他
1980 (昭和55)	村誠三, 吉村茂蔵 12. 末 会員数 27579名	田聖, 板倉忠三, 河村 重俊, 鈴木清一, 平井 教, 水越達雄の6氏の 名誉会員推挙	2.15~17 第23回水理講演会(講演60題) 2.22~23 第12回岩盤力学に関するシンポジ ウム(講演26題) 5.25 シンポジウム「明治の鉄道—その役割 と発展過程を探る—」(講演4題) 5.29 通常総会(私学会館ホール) 6.6~7 第13回土木計画学シンポジウム 6.23~7.7 第8回土木技術者のための海外研 修旅行(南ヨーロッパ) 6.24~7.12 公共工事請負契約海外調査(ア メリカ, 西ドイツ, イギリスほか) 6.26~29 講習会「現場土木技術者のための 架設構造物」(東京会場, 講演15題) 7.10~13 講習会「現場土木技術者のための 架設構造物」(大阪会場, 講演15題) 7.16~18.19~21 第15回水工学に関する夏 期研修会(講演18題) 7.19~20 第15回地震工学研究発表会(講演 68題) 7.20 プレストレストコンクリート標準示方 書講習会(講演7題) 7.31~8.2 第13回高校土木教職員を対象と する夏期講習会 8.24 第7回環境問題シンポジウム(講演22 題) 8.30~31 第12回土木計画学講習会(講演9 題) 10.16~18 第34回年次学術講演会(九州大学 および福岡建設専門学校)発表論文1386編 11.6~7 第4回電算機利用に関するシンポ ジウム(講演29題) 11.20~22 第26回海岸工学講習会(講演145 題) 一、一 理事会(この年7回開催) 一、一 評議員会(この年2回開催)	9.27 鷺羽山トンネル安定委員会 9.27 シールド工事用標準セグメントに 関する調査研究委員会 一、一 航空写真のみかた編集小委員会 一、一 測量実習指導書改訂小委員会 一、一 原子力土木委員会地盤部会 一、一 トンネル工学委員会大断面トン ネル小委員会	2. 土木計画における最適化(土木計画学 シリーズIV) 3. 電算機有効利用に関する調査研究報告 書 3. 土木材料実験指導書(基礎編)昭和54 年版 3. 土木材料実験指導書(基礎編・応用編) 昭和54年版 3. 鋼製サイロに関する調査研究報告書(昭 和53年度) 5. 土木計画における予測と計量化(土木 計画学シリーズIII) 6. 仮設構造物の計画と施工 7. 地盤工学文献目録, 第5回 7. コンクリートライブラリー第44号・ア レストレストコンクリート標準示方書解説資 料 9. エネルギー施設(II)一水力・原子力 発電, 都市ガス, 石油精製一(新体系土木工 学) 9. 土木工事管理(新体系土木工学98) 10. 土木学会名簿 10. 基礎(II)一特殊工法一(新体系土 木工学46) 10. 海洋施設の設計と施工(新体系土木工 学85) 11. 構造物の振動解析(新体系土木工学10) 11. 鉄筋コンクリート構造物の設計と施工 (新体系土木工学33) 11. 地盤計画(Ⅰ)一計画の分析一(新 体系土木工学53) 12. 弾性体の力学(新体系土木工学6) 12. 廃棄物処理(新体系土木工学91) 12. コンクリートライブラリー第45号・影 張コンクリート設計施工指針(案)	5.23 John, W. Fontohl博士講演会 8.3 D. A. Firmege教 授講演会 一、一 会員仁形蔵, 日本鉄道建設公団総裁 に就任 一、一 特別会員の柳 竹中じ務店, 竹中土木, 第31回毎日工業技術賞 受賞
1980 (昭和55)	5. 一 会長 橋國一郎, 副会長 網千寿夫, 兼幹, 八木鉄男, 岡部保, 能町純雄 12. 末 会員数 28219名	1.22 論文報告集講読 料を6,600円に改正 1.22 会費を正会員 7,800円, 学生会員 4,200円に改正 1.22 故黒田武定君遺 族より100万円の寄附 金	1.14~15 第13回岩盤力学に関するシンポジ ウム(講演27題) 1.25~26 第16回衛生工学研究討論会(講演 25題) 1.29 シンポジウム「土木史学の成立を目指 して」 1.31~2.1 第2回土木計画学研究発表会(37 題)	7.22 コンクリート鉄道構造設計標準に 関する研究小委員会 7.22 鋼鉄道橋梁設計標準に関する研究 委員会 11.25 地盤の評価手法の標準化に関す る研究 11.25 高炉スラグ細骨材に関する調査 研究	一、 Proceeding of the 3rd internation- al symposium on stochastic hydraulics, Tokyo, August 5~7, 1980 一、 Proc. of the 3rd international symposium on stochastic hydraulics, Tokyo, August 5~7, 1980. Supplementary volume 1. 鉄道(II)一線路, 防災, 電気設備一	9.14 Le Mehaute 博 士講演会 9.20 James W. Daily教授特別講演会 9.29 アメリカ土木学 会 Joseph S. Ward 会 長特別講演会 6.1 会員久保建, 日本

- 4.15 会誌定価を1,000円に改正
5. 一 総会において井上幸太郎、太田尾藤治、佐藤寛政、山崎博、横通英雄、米元卓介の6氏の名譽会員推挙を改正
- 10.15 会誌広告料金を改正
- 12.16 臨時評議員会において役員候補者選考内規の一部変更、会長ノミネット制度の実施を決定
- 2.7~9 第24回水理講習会(講演69題)
- 5.1~2 最近におけるコンクリート工学の諸問題に関する講習会(大阪会場ほか)
- 5.23~24の福岡まで4会場にて開催)
- 5.27 通常総会(私学会館ホール)
- 6.3 「地下貯油施設技術指針(案)」講習会(東京会場)
- 6.10 「地下貯油施設技術指針(案)」講習会(大阪会場)
- 6.12~13 第14回土木計画学会シンポジウム(講演13題)
- 6.17~20 講習会「現場土木技術者のための取設構造物の計画と施工」(講演16題)
- 7.28~30,31~8.2 第16回水工学に関する夏期研修会(講演18題)
- 7.31~8.2 第14回高校土木教職員を対象とする夏期講習会
- 8.5~7 第3回確立過程水理学国際シンポジウム
- 8.20~9.2 第9回土木技術者のための海外研修旅行(アメリカ合衆国)
- 8.21 環境問題に関するワークショップ(講演6題)
- 8.22~23 第8回環境問題シンポジウム(講演22題)
- 9.13~15 第35回年次学術講演会(北海道大学) 発表論文1499編
- 10.2~3 講習会「建設プロジェクトの分析と評価」(講演6題)
- 10.30~31 第5回電算機利用に関するシンポジウム(講演28題)
- 11.18~20 第27回海岸工学講演会(講演116題)
- 11.22 第9回土木学会映画コンクール発表会
- 一 一 理事会(この年8回開催)
- 一 一 評議員会(この年2回、臨時2回開催)

- 11.25 岩盤タンク貯蔵所調査小委員会
- 一 一 水理委員会洪水流の三次元流況と流路形態研究小委員会
- 一 一 エネルギー土木委員会石炭小委員会

- (新体系土木工学67)
1. トンネル(Ⅰ) 一山岳トンネル(新体系土木工学70)
1. 構造物の非弾性解析(新体系土木工学8)
2. コンクリート材料(新体系土木工学28)
2. 道路(Ⅲ) 一構造一(新体系土木工学63)
3. 電算機有効利用に関する調査研究報告書
3. 土木技術フィルムリスト一1980年版
3. 土質実験指導書, 昭和55年版
3. 土木材料実験指導書(基礎編) 昭和55年版
3. 土木材料実験指導書(応用編) 昭和55年版
3. 基礎工(Ⅰ) 一構造物の基礎一(新体系土木工学45)
3. 土木計画のシステム分析(新体系土木工学52)
3. 鉄道(Ⅰ) 一建設, 停車場, 新幹線一(新体系土木工学66)
3. 環境保全(Ⅱ) (新体系土木工学87)
3. 本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・耐震に関する調査研究一本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査報告書(昭和54年度)
3. 本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・耐震に関する調査研究一本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査報告書一別冊1, 主塔設計方法に関する検討(昭和54年度)
3. 本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・耐震に関する調査研究一本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査報告書一別冊2, 疲れに関する検討(昭和54年度)
3. 本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・耐震に関する調査研究一本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査報告書一別冊3, 樫石島, 岩島島斜張橋に関する検討(昭和54年度)
3. 本州四国連絡橋の耐震, 地震に関する調査研究報告書(昭和54年度)
3. 本州四国連絡橋の鋼上部構造・耐風・耐震に関する調査研究一本州四国連絡橋の耐震に関する調査報告書(昭和54年度)

下水道事業団理事長に
就任
一 一 会員山内一郎,
郵政大臣に就任

年次 (年)	会長 副会長 会員数	組織・運営	事業		表彰・海外交流 その他
			行事・集会	調査・研究	
				<p>3. 汚泥処理上からみた合理的浄水方法 ～汚泥処理上からみた合理的浄水方法に関する研究総括報告書</p> <p>3. 密度流の水利 (新体系土木工学22)</p> <p>3. 岩の力学79</p> <p>3. 全国土木系大学教官・教員名簿 1980</p> <p>4. コンクリートライブラリー第46号・無筋および鉄筋コンクリート標準示方書 (昭和55年制定) 改訂資料【付・最近におけるコンクリート工学の諸問題に関する講習会テキスト】</p> <p>4. コンクリートライブラリー第47号・高強度コンクリート設計施工指針 (案)</p> <p>4. 測量実習指導書, 昭和55年版</p> <p>4. 昭和49年制定コンクリート標準示方書, 昭和55年改版</p> <p>4. 昭和49年制定コンクリート標準示方書解説, 昭和55年改版</p> <p>4. 亜鉛めっき鉄筋を用いる鉄筋コンクリートの設計施工指針 (案)</p> <p>5. 建設プロジェクトの分析と評価 (海外建設シリーズ3)</p> <p>5. 道路 (II) 計画と幾何設計— (新体系土木工学62)</p> <p>5. 地下貯油施設技術指針 (案)</p> <p>5. 貯蔵タンク・サイロ (新体系土木工学95)</p> <p>6. 欧米諸国における公共工事請負契約制度とその運用</p> <p>6. 橋梁上部構造 (III) — コンクリート橋 — (新体系土木工学43)</p> <p>6. 土木測量 (新体系土木工学51)</p> <p>7. ダムの設計 (新体系土木工学75)</p> <p>7. 契約・積算 (新体系土木工学97)</p> <p>8. 港湾施設の設計 (新体系土木工学82)</p> <p>8. 特殊コンクリート (新体系土木工学30)</p> <p>9. Earthquake Resistant Design for Civil Engineering Structures, Earth Structures & Foundations in Japan—1980</p> <p>9. 港湾施設の施工 (新体系土木工学83)</p> <p>9. 上水道 (新体系土木工学88)</p> <p>10. 鋼構造物の製作と施工 (新体系土木工</p>	

1981 (昭和56)	5. 一 会長 八十島義之助、副会長 稲田裕、佐々木正久、半谷哲夫、網干寿夫、八木鉄男 12. 末 会員数 28284名	3.31 特別会員会費を特別特級A75万円、特級B63万円、1級A38万円、1級B23万円、1級C12万円、1級D6万円、2級3万円に改正 5.26 総会において猪瀬章雄、鈴木信孝、北村市太郎、友永和夫、高坂繁明、仁杉義、國分正胤、野瀬正儀、佐藤章、星基和、庄司光の11氏の名誉会員推挙	1.30~31 第17回衛生工学研究討論会(講演24題) 1.30~31 第3回土木計画学研究会(講演58題) 2.24~25 第25回水理講演会(講演94題) 4.16 8大学による「土木学会の活動と学生の結びつきについて」の懇談会、 5.26 通商総会(私学会植ホール) 5.8~9 「環境データ収集とその解析」講習会(東京会場) 5.15~16 「環境データ収集とその解析」講習会(大阪会場) 6.25~27 戦前土木「名著100選」展示会(東京会場) 6.26~27 第1回日本土木史研究発表会(講演23題) 7.15~17 第16回地震工学研究発表会(講演87題) 7.22~24 第17回水工学に関する夏期研修会(講演19題) 7.23~24 第15回土木計画学シンポジウム(講演8題) 8.3~5 第15回高校土木教職員を主対象とする夏期講習会 8.21~22 「航空写真のみかた利用のしかた」講習会(名古屋会場) 8.24~25 「航空写真のみかた利用のしかた」講習会(大阪会場) 8.26~27 「航空写真のみかた利用のしかた」講習会(東京会場) 8.24 第2回環境問題に関するワークショップ(講演4題)	3.24 創立70周年記念事業委員会 3.24 関門トンネル上部航路浚渫調査委員会 9.26 四谷見附橋調査研究委員会 9.29 水理公式集改訂委員会 11.24 エネルギー土木委員会屋外貯蔵タンク耐震安全小委員会 一、一 70周年事業委員会に総務部会、行幸部会、事業部会、出版部会を設置 一、一 土木技術者のための振動便覧編集小委員会	10. 砂防・地すべり・急傾斜地崩壊(新体系土木工学77) 11. 下水道(新体系土木工学89) エネルギー施設(I)一水力発電、送変電一(新体系土木工学83) コンクリート工学(II)設計、新訂版(わかり易い土木講座11) 12. 鉄道(III)一都市鉄道、特殊鉄道一(新体系土木工学68) 12. ダムの施工(新体系土木工学76)	1. 土木施工一計画と施工技術一(新体系土木工学99) 1. 海の波の水理(新体系土木工学24) 1. フレッシュコンクリート、硬化コンクリート(新体系土木工学29) 2. 歴青系材料(新体系土木工学27) 2. 港湾計画(新体系土木工学81) 3. 漂砂と海岸保全施設(新体系土木工学79) 3. 岩の力学 '80 3. 電算機有効利用に関する調査研究報告書、昭和55年度 3. 構造力学公式集例題集 3. 衛生工学実験指導書(現場調査編) 3. 航空写真のみかた 3. 自動作図の基礎技術 4. コンクリートフライアッシュ第48号・コンクリート構造の限界状態設計法試案 4. 構造物の耐震解析(新体系土木工学11) 4. プレストレストコンクリートの力学(新体系土木工学34) 5. 社会資本と公共投資(新体系土木工学49) 5. 都市計画(III)一都市計画事業一(新体系土木工学57) 6. 環境保全(I)一環境の指標と評価一(新体系土木工学86) 6. 土木構造設計法(新体系土木工学12) 7. 地盤工学文献目録、第6回 7. 土の力学(IV)一応力分散、安定、変形一(新体系土木工学19) 8. 土の力学(III)一圧密、せん断、動的	4.16 会員高橋裕、フランズ教育功労章シユバリ工章受章 4.28 川越専務理事、アメリカ土木学会1981 "International Conventions" に出席 10.6 第10回土木学会海外研修旅行団(団長 田島二郎) 25名がオーストラリア工学会を訪問 10.7 会員久保理、水質汚濁防止連盟(WPCF) 1981年度名誉会員に選出 11.3 会員今村正孝、美国土木学会1981年度海外部門賞受賞 11.17 会員堀川清司、アメリカ土木学会国際海洋工学賞受賞 11.21 アメリカ土木学会James R. Sims会長 4.15 会員久保理、松浦章夫、山本毅史、第7回科学技術庁研究功績賞受賞 4.15 会員千秋信一、科学技術功労者長官賞受賞
----------------	---	--	--	--	--	---	--

年次 (年)	会長 副会長 会員数	組織・運営	行事・集会	事業 調査・研究	出版	表彰・海外交流 その他		
1982 (昭和57)	5.24 会長 野瀬 伊 正徳、副会長 久保慶三 郎、稲田裕、佐々 木正久、半谷哲夫 12. 末 会員数 28333名	1.15 会誌定価を1250 円に改正 西一郎、扇田彦一、小 林嘉道、田代信雄、米 谷栄二、田中五郎、坂 本貞雄、比田正一、城塚 孝雄、三浦文次郎の10 氏の名譽会員推挙 6.7 名譽会員岡本舜 三氏より500万円の寄 附金(藤原受賞記念) 8.19 故広長良一君ご 遺跡より200万円の寄 附金(故木村又左衛門 氏ご遺族からの寄附金	8.25~26 第9回環境問題シンポジウム(講 演22題) 9.8~9 講習会「土木工事の積算と実際」(講 演11題) 10.6~8 第36回年次学術講演会(広島大学) 発表論文1667編 10.6~8 戦前土木「名著100選」展示会(広 島会場) 10.5~18 第10回土木技術者のための海外研 修旅行(オーストラリア、ニュージーランド) 10.16 講習会「コンクリート構造の限界状態 設計法試案」(講演10題) 10.29~30 第6回電算機利用に関するシン ポジウム(講演26題) 11.4~6 第13回土木計画学講習会(東京会 場) 11.9~10 第13回土木計画学講習会(大阪会 場) 11.11 「自動作画の基礎技術」講習会(東京 会場) 11.18 「自動作画の基礎技術」講習会(大阪 会場) 11.17~18 第28回海洋工学講習会(講演126 題) 一、一 理事会(この年8回開催) 一、一 評議員会(この年2回開催)	1.29~30 第18回衛生工学研究討論会(講演 34題) 1.30~31 第4回土木計画学研究発表会(講 演70題) 2.16~17 第26回水理講演会(講演102題) 2.25~26 第14回岩盤力学に関するシンポジ ウム(講演39題) 3.11~12 「航空写真のみかた利用のしかた」 講習会(北海道会場) 3.17 マガロー教授講演会、講演「嵩および 河川水域のエコシステムの理論モデル化と実 水城への適用」 5.24 通常総会(私学会館ホール) 6.15 第1回海外活動委員会講演会「サイー ル川のつくり陸工事に参加して」村上温 6.25~26 第2回日本土木史研究発表会(講	1.27 コンクリート細骨材としてのフェ ロニッケルスラッグに関する調査研究 1.27 定期刊行物に関する検討委員会 1.27 土木技術の発展と社会資本に關す る研究委員会 3.24 軽量骨材コンクリート土木構造物 への適用化と設計施工の合理化に関する 研究委員会 7.22 屋外タンクの地震を中心とした安 全性の調査検討 9.24 基礎構造および林土構造物の設計 標準に関する研究委員会	解析一(新体系土木工学18) 9. 土木工事の積算と実際(講習会テクニ ク) 9. 構造用鋼材(新体系土木工学37) 9. 施工、新訂版(わかり易い土木講座14) 9. International Symposium on Weak Rock theme1~5 10. エネルギー計画(新体系土木工学92) 10. 土木学会名簿 10. 交通需要予測ハンドブック 11. 確率・統計解析(新体系土木工学2) 12. 土地造成(1)宅地造成(新体系土木 工学78の1) 12. 土地造成(2)一坪立(新体系土木工 学78の2) 12. 土質工学、新訂版(わかり易い土木講 座6) 12. 海岸・港湾・新訂版(わかり易い土木 講座17)	6.5 会員植下協、佐藤 健、第8回環境賞受賞 10.13 委員木橋康次、 日本古水学会功績賞受 賞 11.1 会員菊池一男、 首都高速道路公社理事 長に就任 11.一 会員佐伯浩 昭和55年度(第13回) 市村賞受賞	一、一 豪州工学会編 集長 J. Pathe氏懇談会 3.5 会員藤田亀太郎、 レノンドヌール勲章 コンマンドーール章受賞 5.21 Dr. J. Kindler来 会 8.25 第11回海外研修 旅行団(田長中川博次) 20名がアメリカ土木学 会を公式訪問 10.6 Owen Phillips 教授講演会 10.29~31 (社)大韓 土木学会創立30周年記 念式典で本会会長野瀬

<p>と併せて土木振興基金を設立)</p> <p>11.10 故木村又左衛門君ご遺族より3000万円のご寄附金(故広長良一君ご遺族からの寄附金と併せて土木振興基金を設立)</p>	<p>連24題)</p> <p>7.6 美しい橋のデザインマニキュアル講習会(東京会場)</p> <p>7.9 美しい橋のデザインマニキュアル講習会(大阪会場)</p> <p>7.8~9 第16回土木計画学シンポジウム(講演1題)</p> <p>7.26~28.29~31 第18回水工学に関する夏期研修会(講演18題)</p> <p>8.17~18 第16回高校土木科教職員を対象とする夏期講習会</p> <p>8.23 第3回環境問題ワークショップ(講演5題)</p> <p>8.23~9.5 第11回土木技術者のための海外研修旅行(アメリカ東部)</p> <p>8.24~25 第10回環境問題シンポジウム(講演21題)</p> <p>10.1 第2回海外活動委員会講演会「マレーシアのBiru港建設工事に参加して」</p> <p>10.12~15 第37回年次学術講演会(名古屋大学ほか)発表論文1641編</p> <p>10.27~29 第28回海岸工学講演会(講演130題)</p> <p>10.28~29 第7回電算機利用に関するシンポジウム(講演32題)</p> <p>10.30 第10回土木学会映画コンクール入賞発表会</p> <p>11.25 鉄筋継手の設計施工に関する講習会(東京会場)</p> <p>12.15 鉄筋継手の設計施工に関する講習会(大阪会場)</p> <p>一、一 理事会(この年8回開催)</p> <p>一、一 評議員会(この年2回開催)</p>	<p>と併せて土木振興基金を設立)</p> <p>11.10 故木村又左衛門君ご遺族より3000万円のご寄附金(故広長良一君ご遺族からの寄附金と併せて土木振興基金を設立)</p>	<p>と併せて土木振興基金を設立)</p> <p>11.10 故木村又左衛門君ご遺族より3000万円のご寄附金(故広長良一君ご遺族からの寄附金と併せて土木振興基金を設立)</p>	<p>と併せて土木振興基金を設立)</p> <p>11.10 故木村又左衛門君ご遺族より3000万円のご寄附金(故広長良一君ご遺族からの寄附金と併せて土木振興基金を設立)</p>	<p>と併せて土木振興基金を設立)</p> <p>11.10 故木村又左衛門君ご遺族より3000万円のご寄附金(故広長良一君ご遺族からの寄附金と併せて土木振興基金を設立)</p>	<p>と併せて土木振興基金を設立)</p> <p>11.10 故木村又左衛門君ご遺族より3000万円のご寄附金(故広長良一君ご遺族からの寄附金と併せて土木振興基金を設立)</p>	<p>と併せて土木振興基金を設立)</p> <p>11.10 故木村又左衛門君ご遺族より3000万円のご寄附金(故広長良一君ご遺族からの寄附金と併せて土木振興基金を設立)</p>	<p>と併せて土木振興基金を設立)</p> <p>11.10 故木村又左衛門君ご遺族より3000万円のご寄附金(故広長良一君ご遺族からの寄附金と併せて土木振興基金を設立)</p>	<p>と併せて土木振興基金を設立)</p> <p>11.10 故木村又左衛門君ご遺族より3000万円のご寄附金(故広長良一君ご遺族からの寄附金と併せて土木振興基金を設立)</p>	<p>と併せて土木振興基金を設立)</p> <p>11.10 故木村又左衛門君ご遺族より3000万円のご寄附金(故広長良一君ご遺族からの寄附金と併せて土木振興基金を設立)</p>	<p>と併せて土木振興基金を設立)</p> <p>11.10 故木村又左衛門君ご遺族より3000万円のご寄附金(故広長良一君ご遺族からの寄附金と併せて土木振興基金を設立)</p>	<p>と併せて土木振興基金を設立)</p> <p>11.10 故木村又左衛門君ご遺族より3000万円のご寄附金(故広長良一君ご遺族からの寄附金と併せて土木振興基金を設立)</p>	<p>と併せて土木振興基金を設立)</p> <p>11.10 故木村又左衛門君ご遺族より3000万円のご寄附金(故広長良一君ご遺族からの寄附金と併せて土木振興基金を設立)</p>	<p>と併せて土木振興基金を設立)</p> <p>11.10 故木村又左衛門君ご遺族より3000万円のご寄附金(故広長良一君ご遺族からの寄附金と併せて土木振興基金を設立)</p>	<p>と併せて土木振興基金を設立)</p> <p>11.10 故木村又左衛門君ご遺族より3000万円のご寄附金(故広長良一君ご遺族からの寄附金と併せて土木振興基金を設立)</p>	<p>と併せて土木振興基金を設立)</p> <p>11.10 故木村又左衛門君ご遺族より3000万円のご寄附金(故広長良一君ご遺族からの寄附金と併せて土木振興基金を設立)</p>	<p>と併せて土木振興基金を設立)</p> <p>11.10 故木村又左衛門君ご遺族より3000万円のご寄附金(故広長良一君ご遺族からの寄附金と併せて土木振興基金を設立)</p>	<p>と併せて土木振興基金を設立)</p> <p>11.10 故木村又左衛門君ご遺族より3000万円のご寄附金(故広長良一君ご遺族からの寄附金と併せて土木振興基金を設立)</p>	<p>と併せて土木振興基金を設立)</p> <p>11.10 故木村又左衛門君ご遺族より3000万円のご寄附金(故広長良一君ご遺族からの寄附金と併せて土木振興基金を設立)</p>	<p>と併せて土木振興基金を設立)</p> <p>11.10 故木村又左衛門君ご遺族より3000万円のご寄附金(故広長良一君ご遺族からの寄附金と併せて土木振興基金を設立)</p>	<p>と併せて土木振興基金を設立)</p> <p>11.10 故木村又左衛門君ご遺族より3000万円のご寄附金(故広長良一君ご遺族からの寄附金と併せて土木振興基金を設立)</p>	<p>と併せて土木振興基金を設立)</p> <p>11.10 故木村又左衛門君ご遺族より3000万円のご寄附金(故広長良一君ご遺族からの寄附金と併せて土木振興基金を設立)</p>	<p>と併せて土木振興基金を設立)</p> <p>11.10 故木村又左衛門君ご遺族より3000万円のご寄附金(故広長良一君ご遺族からの寄附金と併せて土木振興基金を設立)</p>	<p>と併せて土木振興基金を設立)</p> <p>11.10 故木村又左衛門君ご遺族より3000万円のご寄附金(故広長良一君ご遺族からの寄附金と併せて土木振興基金を設立)</p>
---	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

年次 (年)	会長 副会長 会員数	組織・運営	行事・集会	事業 調査・研究	出版	表彰・海外交流 その他
		員の種別を変更, 名誉 会員を称号とする) 12.22 事務局, 事務所 改革のため土木図書館 へ移転	4.5 鋼鐵維補強コンクリート設計施工指針 に関する講習会 (札幌会場ほか10.7の金沢ま で9会場で開催) 4.27~28 建設用ロボットに関する技術講習 会 (講演5題) 5.23 鋼構造シンポジウム「鋼構造における 最近の動向」 5.24 通常総会 (私学会館ホール) 6.22~23 第17回土木計画学シンポジウム (講演12題) 6.24~25 第3回日本土木史研究発表会 (講 演26題) 7.5 高炉スラグ細骨材を用いたコンクリー トの設計施工指針講習会 (東京会場) 7.6 第4回海外活動委員会講演会「海外にお ける建設技術者」 7.7 高炉スラグ細骨材を用いたコンクリー トの設計施工指針講習会 (大阪会場) 7.8 トンネルの地質調査と岩盤計測」講習 会 (講演7題) 7.20~22 第17回地震工学研究発表会 (講演 97題) 7.27~29 第19回水工学に関する夏期研修会 (講演19題) 8.3~5 第17回高校土木科教職員を対象と する夏期講習会 8.8 日本海中部地震に関する報告会 8.22 第4回環境問題に関するワークショップ ア (講演5題) 8.23 第11回環境問題のシンポジウム (講演 24題) 9.28~30 第38回年次学術講演会 (関東学院 大学) 発表論文1651編 10.14 流動化コンクリート施工指針改訂に 伴う講習会 (東京会場ほか11.1の大阪まで4 会場で開催) 10.22~11.5 第12回土木技術者のための海 外調査団 (西ドイツ, フランス, イギリス) 10.27~28 第8回電算機利用に関するシン ポジウム (講演26題) 11.9~11 第30回海岸工学講演会 (講演133 題)	4.5 建設用ロボットに関する技術講習会テ キスト 5. 鋼構造シンポジウム「鋼構造における 最近の動向」資料 5. 国鉄建造物設計標準解説—鉄筋コンク リート構造物および無筋コンクリート構造物, プレストレストコンクリート鉄道橋— 5. 国鉄建造物設計標準解説—鋼鉄道橋, 鋼とコンクリートとの合成鉄道橋— 6. 建造物の弾性解析 (新体系土木工学7) 7. 地域計画 (II) (新体系土木工学54) — 計画の作成と実施— 7. 地袋工学文献目録, 第7回 7. トンネルの地質調査と岩盤計測 8. これからの土木技術—技術開発の展望 — (第18回夏期講習会講演テキスト) 9. 数値計算法 (新体系土木工学1) 10. 土質工学における予測—盛土の沈下・ 安定予測を中心に— 10. 有誤要素法 (新体系土木工学3) 10. 土木学会名簿 10. コンクリートライブラリー第51号・流 動化コンクリート施工指針 (案) 11. コンクリートライブラリー第52号・コ ンクリート構造の限界状態設計法指針 (案) 11. コンクリート構造物の維持・補修・取 壊し (新体系土木工学38) 11. 土木工事のマネジメント問題に関する 研究討論会講演・資料集 12. 原位置岩盤の変形およびせん断試験の 指針—解説と設計への適用 12. 工事災害と安全対策 (新体系土木工学 別巻)	8.11 韓国建設技術院 院長安京根ら来会 9.5~6 カナダ国公 共事業省道路局技師M. S. Cheung博士来会 10.8 会員前田昌之, トード・バランダー, ウェーデンの経済学 者) 講演 9.22 イスラエル技術 調査団来会 10.6 アメリカ土木学 会会長 John H. Wiedeman 博士特別講 演会 10.18 Dr. Peter, Kaiser (カナダ・アルバ ータ大学) 教授懇談会 10.20 香港工学会, R. Thomson 会長・T. R. Maclean 事務長との 談話会 10. 一 会員石川六郎, イタリヤ共和国有幼勲 章グランデ・ウフィチ アーレ受賞 11.1 第12回海外研修 旅行団 (团长高橋裕) 23名がイギリス土木学 会を公式訪問 11.11 イギリス土木 学会「英国土木学会誌 国際版」編集長David, J. Hayward氏との談話 会 11. 一 空港舗装研究 委員会, (委) アメリ カ, ヨーロッパの空港 舗装の現況調査のため 調査団派遣 一. 一 会員片桐青文 ほか84名 (マタディ橋究 成に尽した日本人) ず	

11.10～11 第1回土木工事のマネジメント問題に関する研究討論会(講演30題)
 11.17～18 第14回土木計画学講習会(講演10題)
 12.2～3 コンクリート構造物の限界状態設計法指針(案)講習会(東京会場, 講演7題)
 12.13～14 コンクリート構造物の限界状態設計法指針(案)講習会(大阪会場, 講演7題)
 12.16 原位置岩盤の変形およびせん断試験の指針—解説と設計への適用—講習会(講演11題)
 一、一 理事会(この年8回開催)
 一、一 評議員会(この年2回, 臨時1回開催)

イール政府より国民栄
 誉賞受賞
 1.17 会員岩崎敏夫、
 第32回河北文化賞受賞
 式
 一、一 会員武藤清、
 文化勲章受賞
 一、一 会員上田稔、
 環境庁長官に就任
 一、一 会員仁杉藏、
 日本国有鉄道総裁に就
 任
 一、一 会員内田隆滋、
 日本鉄道建設公団総裁
 に就任
 一、一 会員吉田登、
 動力炉・核燃料開発事
 業団理事長に就任